

濟生

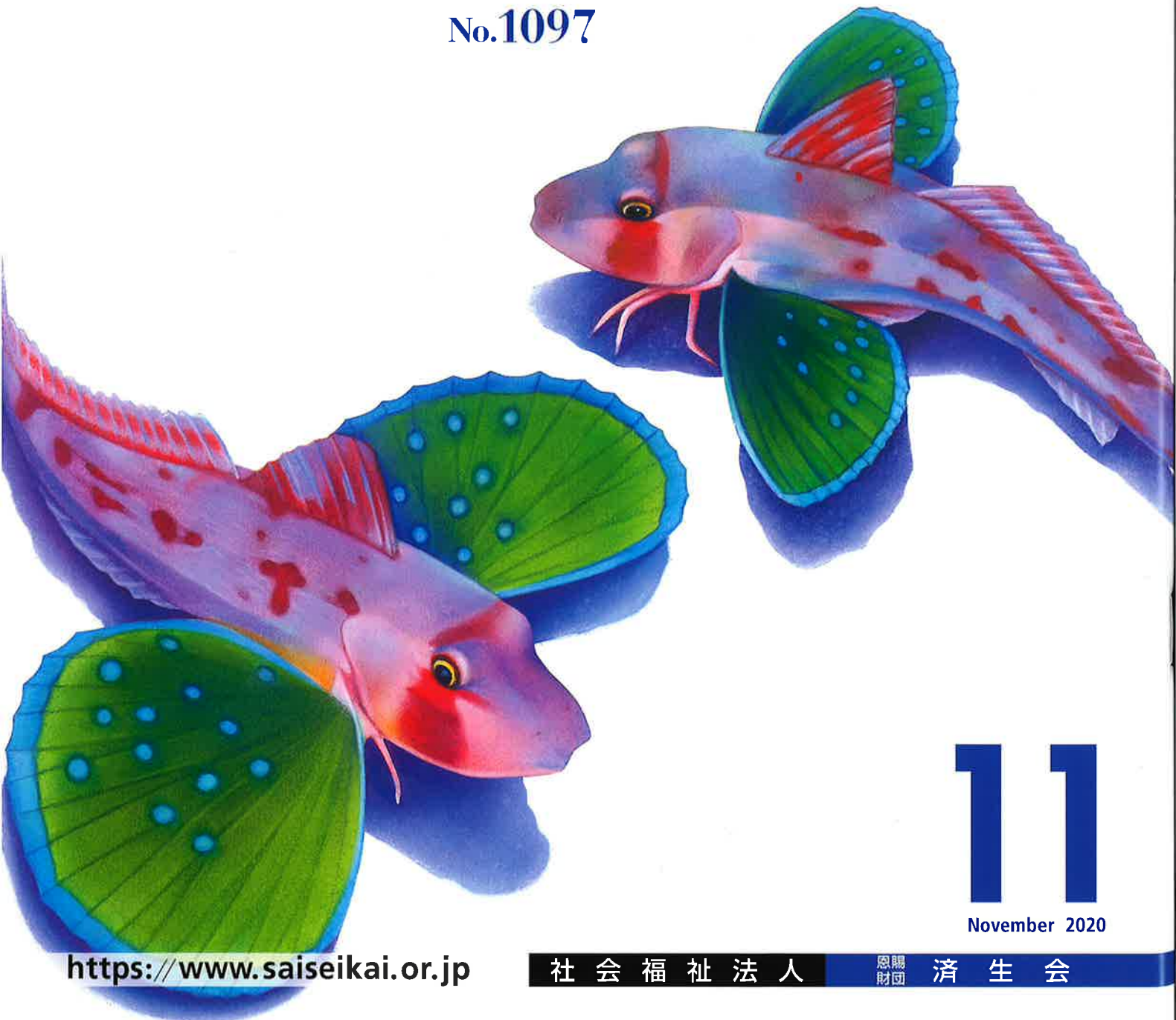
SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1097

「濟生会交差点」

性暴力被害者支援、
患者の希望を支える



11

November 2020

<https://www.saiseikai.or.jp>

社会福祉法人

恩賜
財団

濟生会

濟生会の 不易流行論

146

理事長 炭谷 茂
Shigeru Sumitani

倒産・廃業の悲劇

テ レビドラマ「半沢直樹」は、近来にない高視聴率を記録した。経済ドラマだった
が、歌舞伎のような派手な演技、歯切れのよい決めゼリフ、分かりやすいドラマの展開が、人気の秘密だった。
銀行員としての半沢直樹の原
点は、町工場を経営する父親が、銀行から融資を断られたため倒産し、自殺したことの怨念だった。半沢は、父の工場を銀行が



救う方法があったと考える。銀行には冷徹な論理がある。これを外すと、金融庁から指導を受ける。背任罪に問われることもある。
私は、政府関係金融機関で融資や債権回収事務の仕事をしたことがある。素人同然だったが、都市銀行から出向していたN君が、しっかりと助けてくれた。振り返ると貴重な経験で、金融界の実態を学べた。暴力団やエセ右翼団体への対処は、他の人は逃げたので、一手に引き受け、解決した。これは今でも大きな自信になっている。
バブル期がピークを迎えようとしていたが、融資対象の中小企業の中に、無理な設備投資をし、返済不能に陥る案件があった。仕事なので、返済ができなくなった社長の来所を求めた。社長は顔が黒ずみ、心労のほどが読み取れた。強制的な措置もあると告げると、表情は一変した。その後のことは、触れないでおきたい。
私の父は、自営業を営んでいた。地元の信用金庫から融資を受けて細々と商売をやっていたが、時代の変化に取り残され、

返済ができなくなった。父は、廃業を選択し、担保の自宅を手放した。経済的困窮もさることながら、敗者に対する社会の残酷な目がつらかった。
☆ ☆
新型コロナウイルスは、日本経済を直撃している。多くの事業者は、政府の経済対策によって何とか命脈を保っている。今後の推移いかんで倒産や廃業が増大していくだろう。
介護事業所については、1、9月の倒産件数が94件で、過去最高になった（帝国データバンク）。今後、他の福祉事業所や病院の倒産・廃業の増加は、避けられない。
事業所の倒産・廃業は、経営者のみならず、従業員や地域社会に与える影響が甚大である。従業員は、家族を含め人生が地獄に落とされる。
一部の経済学者は「生産性の低い産業を退場させないと、日本経済の発展はない。倒産も仕方がない」と主張する。しかし、人々の不幸を最小限にするのも国の大切な役割である。時代の変化にソフトウェアリングする方策に知恵を絞るべきだ。

不易流行（ふえきりゅうこう）：不易は永遠性、流行はその時々の新風をいい、芭蕉が俳諧思想を表現するときに用いた。濟生会は長い歴史で醸成された価値を大切に、時代の変化に適応していかなければならない。

よろこびがつながる世界へ

KIRIN

ゴクゴクすっきり乳酸菌

「プラズマ乳酸菌」が1,000億個配合された、爽やかなレモンの果汁感と、すっきりとした甘さのレモンウォーター。低カロリーでゴクゴク飲んで、渴いたからだにすっと浸みわたります。毎日の体調管理、コツコツ続けましょう。iMUSEも、きっと力になれるはず。果汁1%

スポーツ中の
水分補給と
体調管理に



プラズマ乳酸菌とは



キリン・小岩井乳業・協和発酵バイオが共同研究を行っている乳酸菌です。国内外の大学・研究機関の協力のもとこれまで多数の論文・学会発表を行っています。

こんな方にオススメです

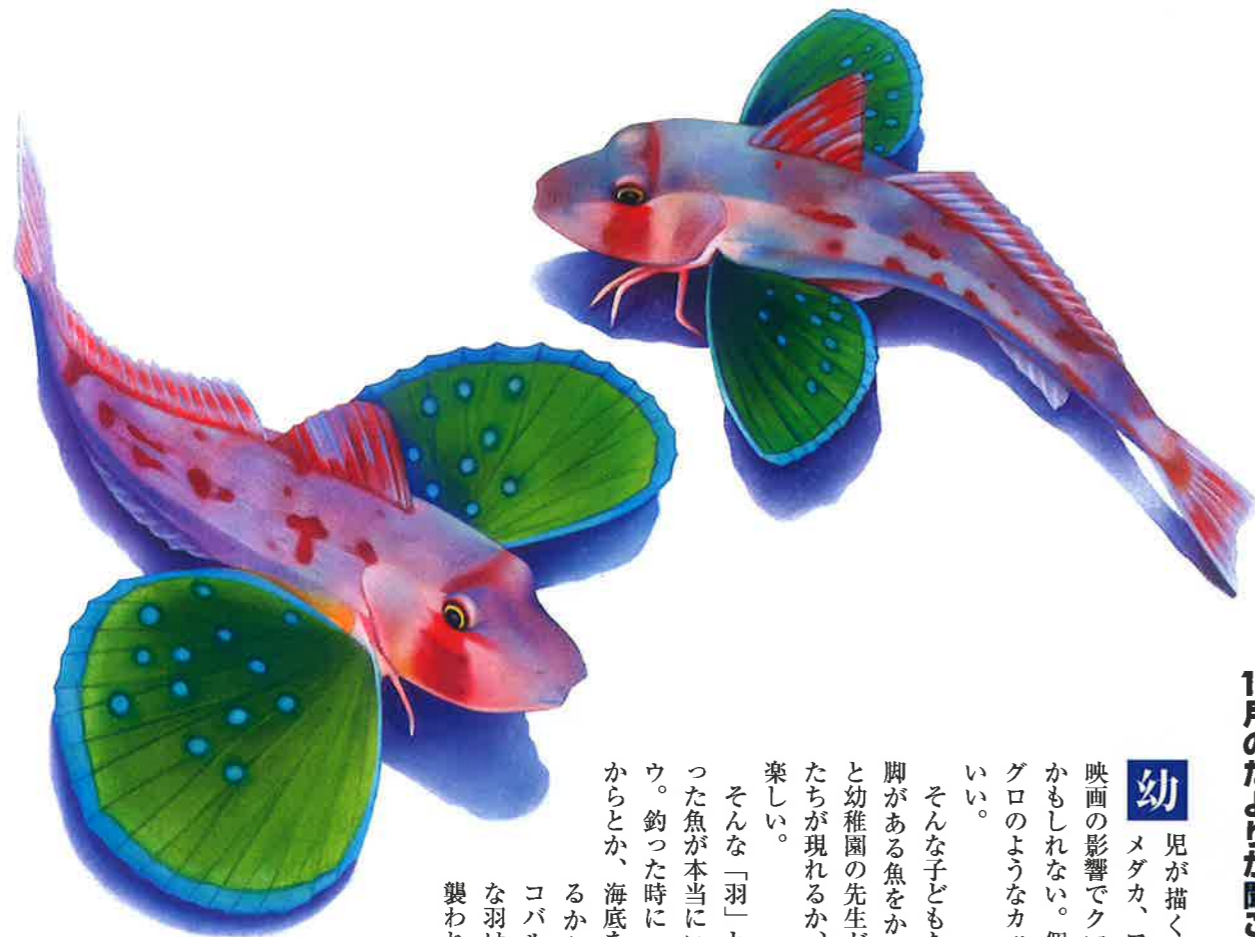
- 毎日元気で過ごしたい
- 負けない自分を作りたい
- 日々の体調管理をしっかり行いたい
- 家族の大切なシーンを応援したい



キリンホールディングス株式会社
藤原大介 博士

キリンビバレッジ株式会社 IMUSE-P.jp

のんだあとはリサイクル。



11月のたよりが聞こえる
ホウボウ

幼

児が描く魚といえば、金魚メダカ、フグあたりが定番か。映画の影響でクマノミも人気があるかもしれない。個人的にはカジキマグロのようなカッコイイ魚があるといい。

そんな子どもたちに「今日は羽と脚がある魚をかいてみましょう」と幼稚園の先生が話したらどんな魚たちが現れるか、想像しただけでも楽しい。

そんな「羽」と「脚」を持つ変わった魚が本当にいる。それがホウボウ。釣った時に「ボーボー」と鳴くからとか、海底を這うように動き回るからという説もある。コバルトブルーの鮮やかな羽は実は胸ビレ。敵に襲われたときに広げて威嚇する。

「脚」のように見える部分も胸ビレが変化したもの。エビのように細長く、左右に3本ずつある脚で海底をト

コトコと歩く。尖った足先を動かして、砂の中に隠れている甲殻類などの獲物を探している。

ホウボウ目当ての遊漁船もあるが、私の場合はポイント釣り。夏場と同じく海底にいるシロギスを狙っていると、ホウボウが釣れることがたまにある。外道だが身はほんのりピンク色した白身で、刺身や煮つけで美味しくいただく。竿先が「プルプル」と小気味よい引きをするシロギスに対して、ホウボウは、「ガクガク」とたたたくよう引き込まれるので、「何かかかった!？」と、リールを巻くこのやり取りが何とも言えない。

来年の夏、またゲストとして釣り上げる日が来るのが待ち遠しい。先日、押し入れを整理していたら、10年以上も前に次男が幼稚園で描いたと思われる絵が出てきた。タイのような形でかろうじて尾ビレと背ビレはある。そして色が赤・黄・青・紫・緑など何とも鮮やか! ホウボウに負けず劣らず変わったこの魚。南米アマゾン川か、マリアナ海溝の奥深くか、地球のどこか、ほうぼうで泳いでいるかなあ。

表紙のことば

何でまた「鮮やかな羽」が?

表紙イラスト 久保田真由美 Mayumi Kubota

ホウボウを知っていますか? 私は魚料理のメニューでかわいい響きの名前を見たことがあったかなというくらい。調べて、「鮮やかな羽」と言いたくなるようなカラフルなヒレを持った魚だと知り

驚きました。エビやカニ、小魚など食べているらしく、殿様にも愛され「君魚」と呼ばれたほど美味しいお魚なんだとか。冬、これからが旬。ホウボウとのうれしい出会いがありますように。



濟生 SAISEI

CONTENTS
NOVEMBER, 2020

NEWSな濟生人

難聴は「耳」ではなく「脳」に原因がある!

福井県済生会病院

耳鼻咽喉科副部長

清水良憲さん

言語聴覚士

+ 西本昌晃さん

済生会交差点

《性暴力被害者支援》コロナ禍で相談は1.7倍に私たちは被害者のために闘う／《患者の希望を支える》生きがいを支えるリハビリは無限の可能性がある／《がん専門薬剤師》患者一人ひとりに寄り添い、抗がん薬の標準治療を実践／《本人の希望をかなえる》外出機会を増やし精神が安定。特養を地域にある住居に

新型コロナウイルスとの戦いの記録

各施設から——〈栃木〉宇都宮病院／〈愛媛〉今治病院／滋賀県病院／〈長野〉特養シルバーランドみつ／静岡済生会総合病院／〈山形〉特養ながまち荘／〈宮崎〉日向病院／愛知県済生会リハビリテーション病院／〈三重〉明和病院なでしこ／〈福岡〉大牟田病院／〈茨城〉神栖済生会病院／岡山県済生会／〈大阪〉中津病院

巻頭コラム 済生会の不易流行論 03
倒産・廃業の悲劇 理事長 炭谷 茂
日本医療マネジメント学会学術総会 18
無低 & なでしこプラン 28

TOPICS 36
載々、大雑報 60

11月のたよりが聞こえる——ホウボウ 05
表紙のことば 久保田真由美
なでしこナースのストーリー 16
この人 満島真之介 + 鈴鹿央士 30
口福につぼん 吉井省一 32
だれでもかんたん てづくりおもちゃ 34
いまいみさ

難聴は「耳」ではなく「脳」に原因がある！

老化とともに訪れる「加齢性難聴」。日本では65歳以上の約半数、1600万人に症状があるといわれ、認知症リスクを高めることもわかってきました。福井県済生会病院は2020年4月、済生会宇都宮病院方式の補聴器リハビリテーションを行なう「めまい・難聴センター」をオープン。県外からも患者さんが訪れます。同センターの医師・清水良憲さんと言語聴覚士（S.T.）の西本昌晃さんに話を伺いました。（福井県済生会病院 済生記者 吉川千恵）

吉川 この春、めまい・難聴センターが開設されました。
清水 前身は2014年に開設した「めまい外来」。そこで診てきたメニエール病患者は聴覚障害も併発することが多いため、「難聴外来」「補聴器外来」を加えて三つの専門外来を備えたセンターにしました。
吉川 どのような特徴がありますか。
清水 一番は、加齢性難聴に対する補聴器

を使った治療で、「済生会宇都宮病院方式」を取り入れていることです。
吉川 同じ済生会の？
清水 宇都宮病院の耳鼻咽喉科長・新田清一（しんたけい）医師が提唱する補聴器リハビリテーション、一言でいうと「脳を変化させる補聴器療養」です。
吉川 脳を変化させる、ですか？
清水 簡単に言うと、「音を聞く脳に戻す」ことです。

福井県済生会病院

耳鼻咽喉科副部長

清水良憲
さん

NEWSな済生人 Interview

言語聴覚士

西本昌晃
さん

「宇都宮方式」の難聴治療で音を聞く脳に戻す

音を認識させます。補聴器リハビリでは、音をしっかりと脳に届けるために比較的大きなボリュウムでスタートします。

吉川 大きな音は耳に悪いのでは？

清水 その質問はよく受けます（笑）。大きいと言っても、補聴器は耳を障害するほどの音量が出ない設定にしていますので、難聴が悪化することはありません。

西本 私たちS.Tも、こまめに補聴器の出

力をチェックし、聴力検査も行ないながら進めるので安心してください。

吉川 どのくらいの音量なのですか。

清水 患者さんにしてみれば相当大きな音です。健聴者の脳は大きな音をカットして必要な部分だけをセレクトして聞いているのですが、難聴者はその機能が衰えているので、聞こえない。そこに突然、大ボリュームの音が入る。そのため脳が驚き、最初の1〜

2週間はかなりつらい。3カ月間、何とか乗り越えてもらうのが治療を成功させる鍵です。スタッフが宇都宮に赴いて実地で学んできました。

補聴器リハビリはチームワークが大切

吉川 治療を続けてもらうための工夫は？
清水 当センターでは医師、S.T、補聴器



〈栃木〉宇都宮病院耳鼻咽喉科のスタッフ。中央が新田医師

※新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、インタビュアーは当該施設の済生記者が務めます。また、写真撮影時のみマスクを外しています

早期の難聴予防が 認知症のリスクを減らす



の販売店員も含めた三者が協働しています。医師は診察と訓練の説明を行ない、個人に合わせた補聴器の音量を指示します。

西本 STと補聴器販売店員はそれに基づいて患者さんごとに調整等を行ないます。清水 訓練中は月に一度、聞こえの状況を検査します。この検査がとても重要です。

吉川 STは、脳卒中後の言語訓練や嚥下訓練のイメージが大きいのですが。

西本 聴覚障害を主体にしてSTを配置する病院は珍しいと思います。

ます。補聴器はメガネと違い、初めて使用する際だけでなく長期に渡り調整が必要で、訓練終了後も4カ月・半年に一度は通院してもらっています。

吉川 訓練で音が聞こえるようにならなると補聴器がいらなくなるのでは？

清水 脳が変化しても、耳の入り口の感覚細胞は少ないままなので補聴器は欠かせません。使い続けることが大事です。

吉川 日常生活で注意することは？

清水 家族や周りの人と多く会話することがトレーニングとなります。

吉川 一人暮らしの方は？

西本 新聞や本を声に出して読む「音読」がいいと思います。

吉川 オープンから半年、すでに訓練を終えた方もいますね。

清水 3カ月の訓練期間中は無償で補聴器を貸し出し、最後まで訓練できた患者さんへのみ購入を勧めています。8割の方が購入しています。

吉川 価格は？

清水 販売店だと小型で見栄えのよい物を選びがちで、片耳50万円以上の高価なものもあります。しかし、当院では症状に合わせてしっかりと聞こえをサポートできる片耳10万円程度の補聴器を推奨しています。

吉川 そこまでして難聴治療を重視する理由をお聞かせください。

清水 難聴は認知症の最大のリスク因子で、超高齢社会の一大課題です。

吉川 難聴が認知症に？

清水 認知症リスク因子全体に占める難聴の割合は9%。喫煙が5%、高血圧や糖尿病、肥満が1~2%と言われていて、難聴の予防・治療は重要です。

吉川 認知症予防にも大切な点ですね。

清水 難聴になると脳の活動自体が低下して認知症になるといわれています。聞こえづらいために人と話さなくなると社会的に孤立し、その環境変化によって認知症につながるという説もあります。

吉川 どうすればよいのでしょうか。

清水 難聴の方はできるだけ早い時期からの補聴器治療をお勧めします。経験上、60代までの成功率は高いのですが、年齢が進むにつれて治療は難しくなります。

吉川 難聴にならないための注意点は？

清水 大きな音は避けてください。最近では若年層のヘッドホン難聴が問題になっています。また、大きな音がする場所での仕事には、必ず耳栓を！

吉川 ほかにありますか？

清水 これは私見ですが、帯状疱疹が耳にできることで難聴を引き起こすケースがあります。帯状疱疹には予防接種があるので、難聴の発症も減らせるはずです。これは意外に知られていないので、当センターから情報を発信する必要もあると思っています。

吉川 耳鳴りやめまいも、難聴と関係がありますか？

清水 耳鳴りは「難聴により脳への信号が減ったところから音をよく聞きたら」と脳が勝手に興奮することによって起こる」と

NEWSな済生人 Interview



宇都宮病院の新田先生は言います。脳への信号不足で興奮状態になるので、補聴器で信号を補うと収まり、使用中は耳鳴りが気にならなくなる方も少なくありません。

めまいは、脳や心臓などさまざまな原因が考えられますが、その半数は耳鼻科の病気で、音を感じる蝸牛の隣にあるバランスの感覚器・三半規管の回路の具合が悪くなっていることが多いです。

吉川 半数が耳鼻科ですか……。

清水 めまい症状のある患者さん100人にアンケートしたところ、約4割が「どの診療科を受診すればいいのか分からなかった」との回答を得ました。必要に応じて他科を紹介できるので、まずは耳鼻科を受診してください。

コロナ禍でも初診3カ月待ち

吉川 難聴・めまい・耳鳴りのすべてを相談できる便利なセンターですが、コロナ禍でのスタートはいかがでしたか。

清水 耳鼻咽喉科では、学会勧告を受け、一時的にすべての手術を中止。外来も合わ



聞き手の吉川さん

せると患者は半減しました。受診控えもあつたと思います。

吉川 現在は？

清水 患者さんは戻りつつありますが、受診控えはまだ続きそうです。難聴は放置すると認知症が進むきっかけにもなります。ちょっとしためまいや聞こえづらさなどの症状でも、背後に別の病気が隠れている場合もあるためぜひ受診してください。

吉川 センターへの反響は？

清水 メディアにも取りあげられました。地域の開業医の先生方に「宇都宮方式の

取材を終えて

「一人でも多くの患者さんに、音を聞く脳を取り戻してほしい」と熱く語る清水先生と西本さん。患者さんの生活の質の向上のため、チーム一丸となって日々診療されていることが伝わりました。超高齢社会の日

補聴器リハビリ開始」をご案内したところ、紹介患者も多くなりました。初診も予約が必要で、3カ月待ちです。

吉川 3カ月待ちですか！

清水 初診は水・木曜日の週2回ですが、初回は補聴器を合わせた日でも一日2人までとしています。患者さんの期待に応えるためにも、スタッフを増員して受け入れ数を増やしていきたいですね。

吉川 たくさんの患者さんが待っています。

清水 加齢性難聴の方は、聞こえない原因が理解できないまま補聴器を購入し、聞こえづらさが改善しないという話もよく聞きます。補聴器リハビリの活動を通してこの流れを変えていきたい。コンタクトレンズの購入に眼科の処方箋が必要のように、将来的には耳鼻科が補聴器を処方できるようになればと願っています。

吉川 認知症予防や、宇都宮方式の有効性が多くの人に伝わるとういんですね。

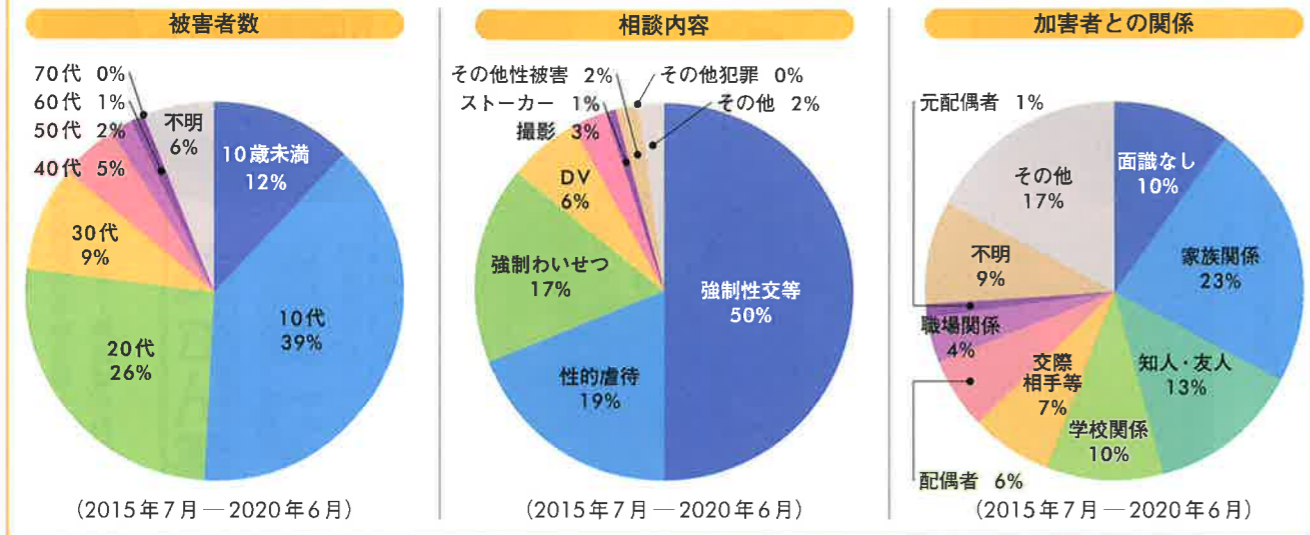
西本 患者さんは、聞こえるようになると表情がとても豊かになって「世界が変わりました」とうれしそうに話してくれます。

清水 人と人とのコミュニケーションによって、見ること・話すことはもちろんですが、「聞こえ」もとても大切なのです。

本において、加齢性難聴の治療は患者さんの社会的孤立や認知症の予防だけでなく地域社会の健康にも大きく貢献できると期待しています。

(吉川千恵)

「とちぎ性暴力被害者サポートセンター（とちエール）」相談の内訳



昨年7月〜今年6月は前年同期比73%増の434件。大幅増加の大きな要因は、コロナ禍によって家庭内で過ごす時間が長くなり、性的虐待やDV被害が多くなったことです。

実は、栃木県が外出自粛を要請していた4月・5月は相談が減少していました。ところが、外出自粛要請解除後の6月から相談が急増。被害者が加害者と同じ家庭内で過ごすためSOSを出しにくく、すぐには表面化しなかったと考えられます。4〜6月の相談件数118件のうち約6割はコロナ禍関連でした。

これまでの相談のうち被害時の年代別で10代以下が約50%を占めています。内容別では強制性交等50%、性的虐待19%、強制わいせつ17%の順に多く、開設5年目に性的虐待が強制わいせつを上回りました。これは中高生に「とちエール」のリーフレット等を配布したり、児童相談所等の関係機関との連携を強化するなど、広報・周知活動の成果だと思えます。

開設以来の相談件数は電話が904件、面接が299件。来所率が約25%（全国平均約10%）と高率なのも当センターの特徴

「……助けて……」
性暴力被害者（児）がSOSを発するのほんの一瞬です。懸命に話をつなぐと、養父から被害を受けている女子中学生でした。養父が在宅勤務になり常に一緒にいるのですが、出かけた隙に電話してきたのです。市外に住んでいるので来所できないと言う彼女。私は今日中に支援につなげなければと、待ち合わせ場所を決めて出かけました。

ベテランMSWの荻津守参与が運転する病院のワゴン車に、私と相談員、保安担当員（警察OB）が乗り込み出勤。到着後は車内を相談室にして、ゆっくりと話を聞きました。最初は「お母さんに怒られてしまう」と怖がっていましたが、「あなたは何も悪くない」と自分を大切にできるように伝えました。こうして始まった支援は2カ月近く続きます。

迅速な実支援につなげるために、できるだけ来所してもらい面談しています。

「奇跡の一日」を信じて

性暴力被害で面識のないケースは全体の10%しかなく、多くは面識のある相手が加害者です。これが被害の潜在化を招く要因の一つです。10月1日には性暴力被害の相談先として全国共通短縮ダイヤル「#8891」が設置されました。各都道府県のワンストップ支援センターにつながる番号で、これまで以上に性暴力被害者が助けを求めやすくなりました。これをきっかけにワンストップ支援センターがより広く周知され、一人でも多くの被害者が私たちに繋がってくださることを期待しています。

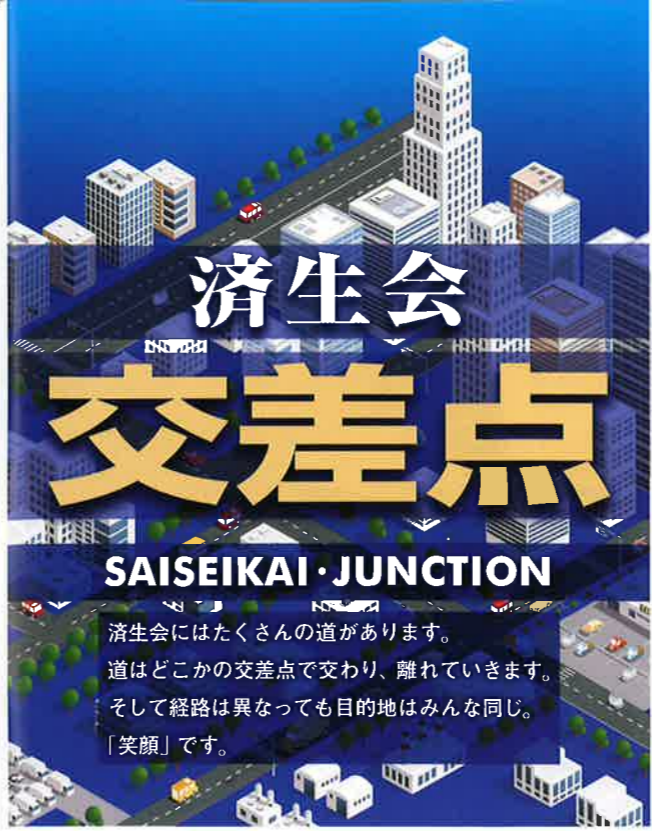
私たちは「助けを求



相談室代わりに病院のワゴン車の車内を使うことも



院内相談室での相談風景



SAISEIKAI JUNCTION
濟生会にはたくさんの道があります。道はどこかの交差点で交わり、離れていきます。そして経路は異なっても目的地はみんな同じ。「笑顔」です。

性暴力被害者支援
（栃木）
宇都宮病院
地域連携課課長代理
（MSW）
稲見一美

コロナ禍で相談は1.7倍に 私たちは被害者のために闘う

コロナ禍のさ中、6月のある日、性犯罪・性暴力被害者を支援するため院内に開設されている「とちぎ性暴力被害者サポートセンター（とちエール）」の電話が鳴りました。しかし、受話器の向こうは無言。私は「大丈夫、あなたの声は届いていますよ」と優しく声をかけ続けましたが、切れてしまいました。そんな無言電話が3回続き、



とちエールのスタッフ（後列左から2人目が筆者）

4度目でやっと、細かい声が聞こえてきました。と、養父から被害を受けている女子中学生でした。養父が在宅勤務になり常に一緒にいるのですが、出かけた隙に電話してきたのです。市外に住んでいるので来所できないと言う彼女。私は今日中に支援につなげなければと、待ち合わせ場所を決めて出かけました。

ベテランMSWの荻津守参与が運転する病院のワゴン車に、私と相談員、保安担当員（警察OB）が乗り込み出勤。到着後は車内を相談室にして、ゆっくりと話を聞きました。最初は「お母さんに怒られてしまう」と怖がっていましたが、「あなたは何も悪くない」と自分を大切にできるように伝えました。こうして始まった支援は2カ月近く続きます。

外出自粛による 家庭時間の長さ影響

「とちエール」は2015年7月、栃木県からの委託でスタート。専門相談員・看護師・MSWが電話や面談で相談を受け、本人の意向を尊重し、関係機関と連携して各種支援に当たっています。

開設1〜3年目の相談件数は年200件未満でしたが、4年目に251件となり、5年目の

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター

#8891
はやくワンストップ

全国共通短縮番号

都道府県の性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター 全国共通短縮番号が10月1日からはじまります。発信場所から最寄りのワンストップ支援センターにつながります。
#8891「はやくワンストップ」と覚えてください。

【全国共通短縮番号#8891】のチラシ

患者の希望を支える

〈和歌山〉
有田訪問看護
ステーション
理学療法士
北野加奈子

生きがいを支えるリハビリは無限の可能性がある



有田訪問看護ステーションでは医師・看護師・PT・ケアマネジャーらが連携し、利用者さん・ご家族の在宅生活を支援しています。その中で、ベッド上の生活から劇的にADLが向上、活気を取り戻した70代男性Aさんを紹介します。

Aさんはみかん農家で奥さんと2人暮らし。外傷性くも膜下出血で気管切開と造設を行ない、退院直後から往診と訪問看護、通所リハビリの利用を開始しました。

当初は注入食で排泄や入浴も

全介助でしたが、往診医と看護師の支援の下、経口での食事を

め差し出したその手を絶対に離さない」という思いで支援をしています。例えば、小学校の6

年間ずっと被害を受け続けていた子が、ある日「助けて」と「ちエール」とつながることがで

ければ、その日をきっかけに人生が変わることもあります。コロナ禍で電話をくれた中学生の

事例のように、そんな「奇跡の一日」を信じて今日も支援を続けます。

1年半後に「畑仕事もできるよ」とAさんが見せてくれた写真



Aさんご夫婦近影。二人三脚のリハビリで、こんなに元気に

開始し、嚥下状態に合わせて舌でつぶせる固さから徐々に食形態を上げていき、気管切開チューブと胃瘻を除去。退院5カ月後には状態が安定し、訪問の主な目的を看護からリハビリに切り替えPTの介入が始まりました。

意欲的な生活リハビリで畑仕事もカラオケも実現
本人の希望は「畑に行きたい、

カラオケがしたい」奥さんは「転ばず歩いてほしい」——これを目標に訪問リハビリはスタートしました。

介入初期から独歩は可能でしたが、慌てたりよそ見したりと、高次脳機能障害による判断力・注意力の低下が見られました。そこで歩行器を用いた反復歩行練習を開始。段差に接位置の目印を付けて、毎回同様に昇降できるよう工夫し、独歩練

習のための環境調整も行ないました。

ご夫婦はとても意欲的で、訪問リハビリで指導した移動方法を日常生活でも実践、歩行能力が向上し、台所での食事やトイレでの排泄など活動範囲が広がり、できることも増えました。歩行が安定すると、奥さんと外出も可能になり、訪問リハビリは半年で終了しました。その要因は次の三つです。

①栄養状態が安定したタイミングでPTが介入できた
②通所リハビリは筋力・持久力



訪問看護ステーションの看護師とPT

③環境調整と奥さんの見守りで転倒を予防し、家庭内の歩行が生活リハビリに定着した

それから1年半、久しぶりに再会したAさんは予想以上の回復ぶりで驚きました。室内独歩は自立し、「畑でちよっと仕事しているよ。カラオケもね」といきいきとした表情で、本当にうれしかったで



PTによる屋外歩行練習。患者さんご夫婦の外出機会にも



患者さん宅のアパートで段差の歩行練習

す。

本人のやる気と奥さんの献身的な支えが無数の可能性を引き

出し、生活リハビリと通所リハビリの地道な継続の成果だと改めて感じました。

がん専門薬剤師

神奈川県病院
薬剤師
安藤純子

患者一人ひとりに寄り添い抗がん薬の標準治療を実践

2016年4月に開設した外来化学療法センターの機能強化を図るため、翌年6月、が

ん専門薬剤師の筆者が専任で配属されました。科学的根拠の乏しいレジメン

（薬剤の種類・量・期間・手順などを示した計画書）を見直し、治療効果と安全性が証明されている「標準治療」を登録。吐き気止めなどの支持治療



外出機会を増やし精神が安定 特養を地域にある住居に

本人の希望を かなえる

〈山形〉
特別養護老人ホーム
山静寿
介護福祉士
杉本ゆかり



外出のきっかけになった電気店で。真剣な表情で品定め

山静寿が開所した2011年に入所したAさん。人見知りの性格もあり、施設の生活になじめず、ふらつと外へ出て行くこととすることが何度かありました。排便コントロールがうまくできないうちもトイレに行き、気持ちの落ち込みや食欲低下も見られました。夜間も遅くまでユニットのリビングでテレビを鑑賞。そのうちに「自分のテレビを購入したい」と相談を受け、一緒に買いに行くことになりました。お店では、希望の品物を自分で選べ

たことに満足し、うれしそうにしていました。これを契機に、外出行事に積極的に誘いと、落ち着いて過ごすなど良い兆しがみられて施設サービス計画書に、月1回の外出を取り入れられました。最期まで心穏やかに

外出計画はAさんの希望を伺って、好物の飲食店や買い物、観光地、お祭り、花見などを選定。インターネットや職員が撮影してきた写真を見せて、納得してから出掛けました。安全第一で本人の状態に合わせた対策を講じて実施。Aさんは嚥下と歩行機能が低下しているため、外出時には食材をカットするはさみやトロミ剤を持参。事前の入念な下調べで、歩きやすい場所を把握し案内しました。希望の外出先がない場合もドライブに誘い、外出機会を増やすよう努めました。

外出先では「んまいっけ。今度は寿司が食べたいな」「いい天気だなー気持ちいい。ここ何町だ？ 昔と違うはー」などご満悦、帰ってからも職員に、楽しそうに話していました。Aさんは2019年11月に94

歳で逝去されましたが、本人の希望に沿った外出を継続したことで精神が安定し、排便への執着も軽減して、最期まで心穏やかに過ごしていました。体調を崩しがちで外出は難しい状態になったときも、「早く体調を治して、また外出に行きましよう」と声をかけると笑顔で応えてくれました。

外出は施設入所ので変化した生活を、以前の生活へと近づけてくれます。四季の景色や人々の生活を見て、地域住民と触れ合うと、特養が地域とつながりのある住居になって、入居者さんの心の垣根が低くなり、ストレスや



一番の好物だったざるそばと天ぷらでご満悦のAさん。左は筆者

フラストレーションが軽減されるのではないのでしょうか。外出後の入居者さんは、施設生活の中で張り合いを持って過ごす様子が見られます。今後も、入居者さんの外出を安全に実施し、みなさんの生きがいと尊重する支援を行なっていきます。



診察に同席し、患者さんの副作用を確認

外来化学療法室で患者さんと

薬も、診療ガイドラインや医薬品の適正使用ガイドに沿って整理しました。患者さん向けの説明資料も作成。当院で抗がん薬治療を受ける

る患者さんの8割超は70歳以上の高齢者です。そのため大きい文字で明るい色を使い、わかりやすいイラストを付けるなどの工夫をしました。患者さんやご家族への説明も一方的に話すのではなく、必要なことが正しく伝わっているのかの確認を心がけています。すると、患者さん（副作用の）しびれはないです」「血圧は大丈夫です」と、私たち薬剤師に進んで話してくれるようになります。

専門性の発揮で喜ばれ信頼される薬剤師に

私の業務は、患者さん一人ひとりの病状や適用するレジメンを評価し、結果を担当の医師や看護師と情報共有して、処方内容や検査データの疑義照会も行ないます。息切れ・悪心・手足の痛みなどの症状があれば、担当の医師に検査、支持療法薬の追加、抗がん薬の減量などを提案することもあります。先日、入院患者さんが「最後

に、安藤さんに話したいことがあるから」と呼んでくださいました。「父が喜ぶので、手を合わせて自宅へ来てください」という声掛けや、お礼の手紙をいただいたことでもあります。こうしたときに「薬剤師として少しでも患者さんに寄り添うことができたらかなあ」と思います。私は、どの患者さんと同じように抗がん薬の標準治療が受けられるように、がん専門薬剤師の専門性を生かすことが自分に与えられた役割だと考えています。それで患者さんやご家族に喜ばれ信頼されれば、薬剤師と



担当スタッフが情報を共有

パクリタキセル (1週毎)

★治療スケジュール

お薬の名前	1日目	8日目	15日目	16~28日目
アレルギー予防 吐き気止め	15分	15分	15分	お休み
パクリタキセル (パクリタキセル)	60分	60分	60分	



★点滴中は下記の点にご注意ください

薬が血管の外に漏れないよう、点滴中は安静にしてください。次のような症状がみられたら、すぐに医師、看護師、薬剤師に声をかけて下さい。

注射部位が腫れる、痛みや熱を感じる

点滴中に過敏症状があらわれることがあります。次のような症状がみられたら、がまんしないで、すぐに近くにいる医師、看護師、薬剤師に声をかけて下さい。

じんましん、息苦しい、唇が腫れる、のどが腫れたような感じがするなど

済生会神奈川病院 化学療法センター



高齢患者さんにもわかりやすく工夫した「治療スケジュール」

終活フェス 2020

済生会フェア

神栖ココでずっと暮らすために
～人生の最終段階における医療・ケアについて考える～



【事前申し込み必須】
参加申し込みはこちら

YouTubeでも
ライブ配信します



<https://shukatsufes.xyz/>

(12:30開場)

2020 12.5^土 13:00 ▶ 17:30

【お電話での申し込み】

終活フェス2020運営事務局

TEL:03-3527-1905(株式会社GROWS)

会場 **かみす防災アリーナ
音楽ホール**

参加費 **無料**

1 大会開催にあたって

～「人生の最期」をテーマに演劇を交えた趣旨説明～

誰もが迎える「もしも」の時。「もしも」の大切さや「医療現場での課題」を紹介します。清真学園中・高校生による演劇に、医師の解説を交え、事前に家族内で話し合われる機会の少ない「もしも」について皆で考えてみませんか。

2 喜劇俳優 大村崑氏 講演 「人生の最終段階における心構え」

笑いながら生きるにはどうすればいいか？健康で、マイナスに考えないことこそ、生きる糧になる。いかに自分で生きていくか、活力ある生活をどうするかをお話します。

3 神栖法律事務所 安重洋介氏 講演 「人生の最終段階における法律の話」

日本は高齢社会を迎えており、相続や遺言の相談も増えています。「父が認知症気味ですが、遺言は書いてもらえますか？」「子どもたちに相続でもめて欲しくないのですが、どのような準備がありますか？」誰しも自分の最後は不安でいっぱいですが、最後をきちんとした形で終えるために法律の話を聞いてみませんか？

4 もしばなゲーム

誰もが大切だとわかっている「もしも」のこと。医師開発の「もしも」カードを使えば、避けてしまいがちな話題を扱うことができます。大村崑氏、安重洋介氏に加え、住職兼落語稽古師の吉本栄親(南夢明)氏、医師の4名も交え意見交換をします。

5 さあ、人生会議をしよう ～もしもの時に大切な話し合い～

「もしも」の時の話は「いつ、誰と、どんなことを話せばいいの...」。清真学園演劇部による劇を交え、細井崇弘(筑波大学付属病院神栖地域医療教育センター・神栖済生会病院 内科医長)氏が分かりやすく説明します。

はでしこナースのストーリー

#111 患者さんの気持ち

腰椎圧迫骨折で入院していた高齢女性の患者さん。立位は不安定で、ふらつきもあり、トイレに行くときはナースコールを押して看護師を呼んでもらうよう伝えていたが、いつも一人で行ってしまおう。転倒の危険性を伝えると、「そうだったね、次



は呼ぶわ」と話した。ある日、再びトイレに一人で行くこととしていてるところを目撃した。声をかけると「わかってる。でも、呼ぶのも嫌なもの...」と彼女はつらそうに話した。その言葉を聞いて、私は衝撃を受けた。看護師を呼ばないのではなく、呼びたくないのだ。「彼女はナースコールを押し

さない」と私が決めつけていたのだった。患者さんの気持ちを考えず、その気持ちに寄り添えていなかった。患者さんの行動には必ず理由がある。私はそれが何なのか、考えようとしていなかったことに、自分自身が情けなく感じた。それでも、転倒・転落は患者さんの命に関わることもある。どうしたら患者さんの気持ちに寄り添えるだろうか。ナースコールを押さずにすむように、先を見越した対応や、ナースコールを押せるような声掛けをすればいい。これからは、患者さんのものを訪ね、こう伝えよう。「お手洗いは大丈夫ですか？」「呼んでいただきありがとうございます」と。(静岡・病院)

写真と筆者は異なります

当イベントは新型コロナウイルスの感染予防対策を行っております。マスクの着用、消毒への協力をお願いします。体調が優れない方は入場をお断りする場合がございます。

投稿募集：ご自分のことやまわりで見かけた、「ナースのちょっとしたいい話」を募集しています。笑える話も大歓迎。原則として500字以内。匿名(謝礼送付の関係から応募は実名)で、法人ホームページにも転載されることがあります。広報室ナース係へ(メール:koho@saiseikai.or.jp 手書きの場合は郵送またはFAX 03-3454-5576)。

データ活用で医療の質向上と 医療・介護の連携促進を



医療従事者が医療・福祉の経営や管理について日頃の取り組みを発表し知見を高める、「日本医療マネジメント学会学術総会」が10月6〜7日に、みやこめっせ（京都市勧業会場）、ロームシアター京都、平安神宮会館で開催され、全国から約2500人が参加しました。当初は6月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期されました。

22回目の今回は、滋賀県病院の三木恒治院長が学会長を務め、「病院ビッグデータ革命」データ活用による「医療の質」「医療・介護連携」の飛躍（Leap）を求めて」をテーマに、ビッグデータの解析やAIへの理解を深め、新たな医療マネジメントの方向性を

とらえることを目的として開催されました。

クリエイティブなパスや医療安全、働き方改革などのテーマとともに、日本医学会の門田守人会長の「医学・医療の向かう道」、自治医科大学の永井良三学長の「情報化時代の医療マネジメント」などの特別講演や教育講演等が22題、「ビッグデータとICTが変える病院医療」「医療と介護のビッグデータ戦略」等をテーマとした12のシンポジウムや約1000の一般演題等、多数のプログラムが企画されました。

多くの済生会職員が 成果発表

6日は、三木学会長が会長講演で「病院は今、大再編時代を迎えている。病院や福祉施設が質の高い医療と介護を提供するためには、情報の管理と分析



そしてデータを有効活用して、健全な病院経営を実践することが求められる」と述べました。7日には、済生会の炭谷茂理事長が「済生会のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組み



感染対策を実施した上で開催

み」と題し講演を行ない、「済生会の理念とSDGsには多くの



炭谷理事長

の共通点がある。社会的な孤立や排除が進む中で済生会は人との結びつきを強くするためのソーシャルインクルージョンの活動を地域の方々と取り組んでいく」と訴え、無料低額診療事業や生活困窮者支援事業をはじめとする済生会の活動を紹介しました。招待講演の平等院住職の神居文彰氏は「いのちの看取りの物語」を、日本対がん協会の垣添忠生会長は「人はがんとどう向き合うか？」というテーマで講演、聴講者の心に響く話をしていました。

全国済生会職員も多数参加し、日ごろの診療面



三木学会長

第22回 日本医療マネジメント学会学術総会
2020年10月6日(木)・7日(金)
みやこめっせ 京都市勧業会場
ロームシアター京都/平安神宮会館
滋賀県 三木恒治 自治医科大学学長

などの取り組みや成果について現地開催ならではの活発な発表や討論を展開しました。

2日間の日程を終え三木学会長は、「新型コロナウイルスによる延期で、不便をおかけしたが、盛会裏に終了することができました。



筆者

た。現地にお越しいただいた皆様、協賛企業の皆様、関係者の皆様に心より御礼を申しあげます」と話していました。

（滋賀県病院 済生会記者
西澤真由美



新型コロナウイルスとの戦いの記録



るよう、スタッフ全員で全力を注いで頑張っていきたい」と意気込みを語りました。

なお、10月1日の運行開始式には、とちぎテレビ・下野新聞の取材を受け、テープカットの様子が報道されました。

(済生記者 川原彩花)



〈栃木〉
宇都宮病院

全国初!! ECMO搭載ドクターカー

当院は宇都宮市消防局・塩谷広域行政組合消防本部と協定を結び、10月1日からドクターカーの運用を開始しました。

患者さんのいる現場や搬送上の救急車の元へ、医師と看護師が出動する車両です。当院のドクターカーは、重症外傷の手術設備や、全国で初めての心肺停止患者に対する人工心肺（ECMO）も搭載しています。

病院到着前に、さまざまな処置や専門的治療をいち早く開始することができる、まさに「移動型救命救急センター」です。

小倉崇以救命救急センター長は「活動が継続できるよう、ド



小倉センター長は全国各地でECMOの普及に取り組んでいる



冷暖房・陰圧 テント完備の 医療用シエルター

〈愛媛〉今治病院

地元企業が開発した医療用シエルターを10月12日、正面玄関横に設置しました。

新型コロナウイルスや季節性インフルエンザの疑い患者さんが、院内に入ることなく診察できるよう

に導入したものです。

約10人の収容が可能なシエルターは冷暖房を備え、前室の陰圧テントで問診を、シエルター内で診察を行なう設計です。

避難所などにも設置できるため、災害時の医療拠点としての活用も期待しています。今後も感染対策を行ない、患者さん・職員の安全確保に努めていきます。

(済生記者 越智美華)

学童施設で 感染防止研修会

滋賀県病院

感染制御室感染管理認定看護師の東海弓恵看護師が9月28日、近隣小学校の学童指導員に、感染症の基本と感染防止策の検証をテーマに研修を行ないました。



東海看護師は事前に学童施設を訪問し、感染対策の良い点や改善点をあらかじめ調査。それを踏まえ、実情に合わせた感染対策方法をレクチャーしました。



TOToさんが来た!
静岡済生会総合病院

移動販売車には今後も定期的に来てもらう予定で、少しでも入居者さん楽しんでもらえればと思います。
(済生記者 大森 智)

9月23日、病院を訪問する道化師「クリニクラウン」のTOTo(トト)さんが、院内保育所などで保育園を訪れました。数年前から小児病棟に入院の子どもたちを楽しませてくれています。

今回は「使う予定のないマスクを必要としているところへ渡したい」と自身のSNSで発信し、多くの賛同者から集まった約140枚のマスクを寄付してくれました。

赤い鼻を付けウサギに扮したTOToさんは、コロナ禍で自粛が続く園児を元気づけようと、園庭でパフォーマンスをしてくれました。手品やコミカルな動きが笑いと驚きを誘い、きらきらと目を輝かせて夢中になる子どもたち。

帰るときも「TOToちゃんー」と、いつまでも大きな声で呼びながら手を振っていました。

(企画広報室)

酒井あい



「感染症はCOVID-19だけでなく、インフルエンザやノロウイルスなど多くの種類があります。全ての人を感染症から守るには、病院だけでなく地域が一体となって正しい知識を持ち、予防に取り組むことが大切だと思っています」と話しました。指導員の皆さんには「現場で役立つ知識を得られた」「改善

感染管理認定看護師がゾーニング研修会
滋賀県病院

当院の筒井俊博感染管理認定看護師が9月28日に、近隣の高齢者施設でゾーニング研修会を行いました。

これは滋賀県病院協会と滋賀県感染制御ネットワークが主催したものです。新型コロナウイルスの基礎知識から、現場におけるゾーニング方法と个人防护服の着脱方法について、現場写真や実演などを交えて分かりやすく説明しました。

当院は、県内の看護協会・介護老人保健施設協会・支部施設などと連携し、筒井看護師を含む感染管理認定看護師がさまざまな場所に赴き、ゾーニング研修会の講師を務めています。

今後も院内だけでなく地域に対しても正しい感染予防の輪を広げ、感染症と戦う環境づくりを支援していきます。

(済生記者 西澤真由美)

移動販売車でお買い物

〈長野〉特養
シルバークラウドみつい

9月から移動販売車に来てもらっています。

新型コロナウイルスの感染が拡大する前は、入居者さんの希望の品物



は、職員が定期的に買い物に出かけて購入していましたが、今はなかなか外出できない状況が続いているための解決策です。実際に移動販売車で買い物をした入居者さんは、「自分で選べて楽しいよ。なかなか出かけられないからうれしい」と、気になる商品に手を伸ばしていました。

介護の作文募集で5部門中4部門受賞の快挙

〈山形〉特養ながまち荘

9月24日、山形県老協協が企画した「ふつとふりカエル介護エピソード」作文募集に応募した、当施設の4作品が受賞しました。

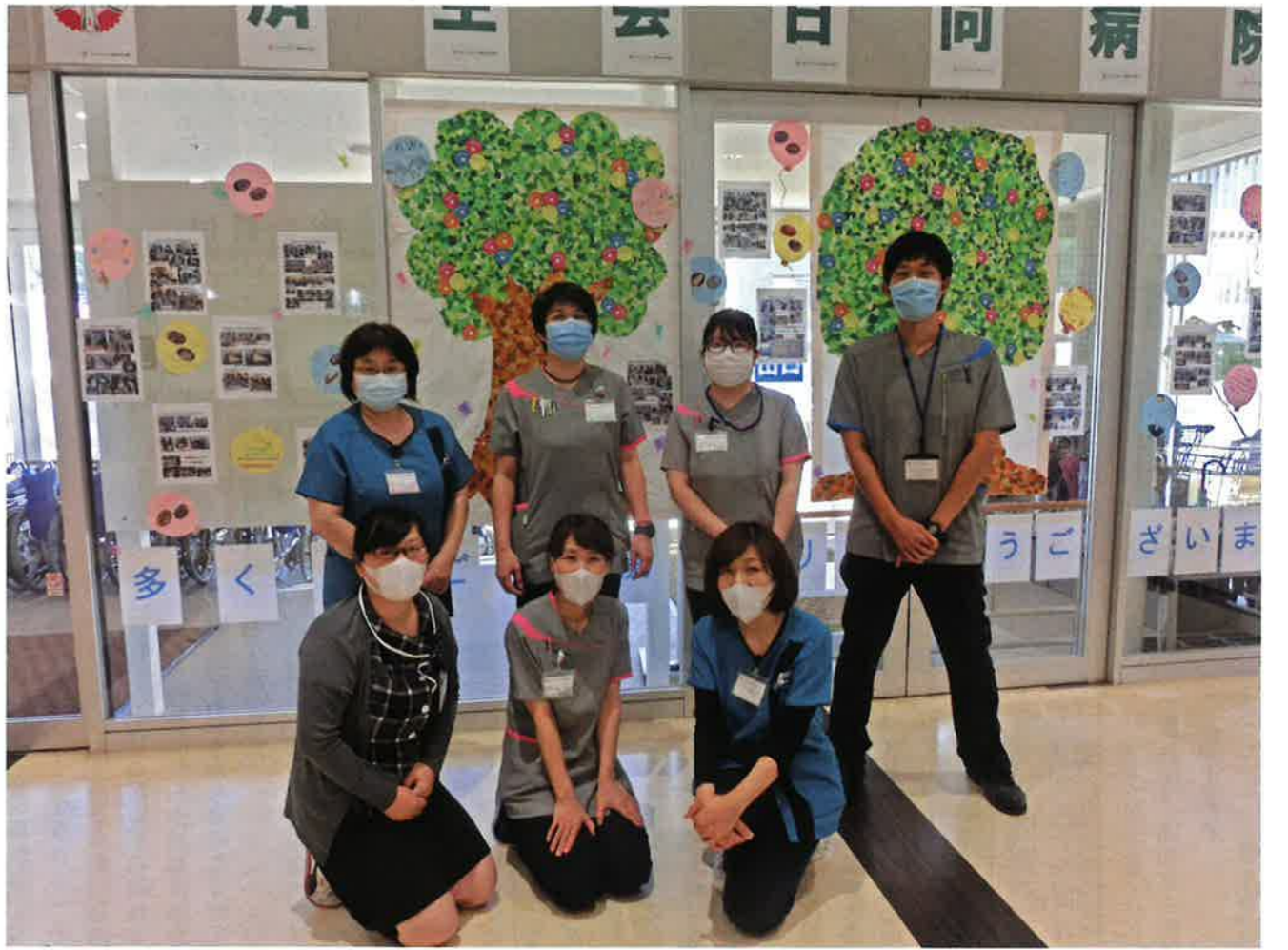
日々の介護を振り返り、コロナ禍の不安やストレスを軽減しようという企画です。

募集を知ったのは6月。コロナ禍でピリピリしている時期に作文なんてと迷いましたが、「新型コロナウイルス感染症対策でこんなこと頑張ったな」「そう、介護の仕事でこんな失敗しちゃったな」、思いついたという書き方



の例を見て興味を引かれました。「よし！今のうっ憤を作文にぶつけよう」と各部署に参加を呼びかけると、予想以上の反応がありました。全員参加で代表作を選考する活気ある部署もあり、最終的に12作品を応募しました。

(介護主査 会田るみ)



**感謝をこめた
「ありがとうの木」**

〈宮崎〉日向病院

コロナ禍で不足する医療物資の支援、寄付への感謝を表す「ありがとうの木」を、8月27日に正面玄関横に掲示しました。地域医療連携室がとりまとめ役となり、全職員に呼びかけて作成したものです。模造紙に折り紙をちぎって貼って病院の全職種一同作業。みんな「ありがとうの木」の趣旨を理解して積極的に参加してくれました。



50枚貼りました。完成まで一カ月半かかりましたが、個人・企業・団体からのマスクやフェイスシールド、食料品などたくさんの方の支援に対して、少しでも感謝の気持ちが伝えられたら幸いです。来院者からは「いろんな職種の人たちが一緒になって取り組んでいるのが素晴らしい」との言葉がもらえて、またコロナに立ち向かう勇気が湧いてきました。

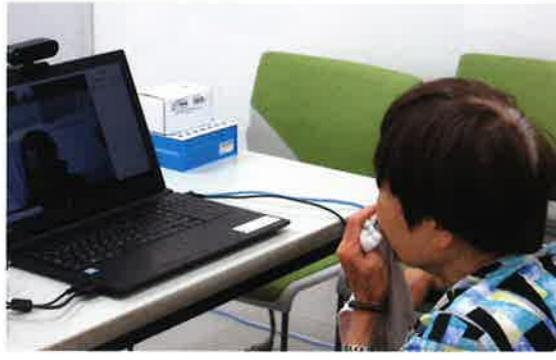
（済生記者 宮越恵利）

海を越えた面会

愛知県済生会リハビリテーション病院

入院患者さんのハワイ在住の娘さんからテレビ電話の利用申し込みがあり、Zoomによる面会を実施しました。コロナ禍の感染防止対策で家族との面会を禁止している中、時差19時間の海外に配慮した特例です。画面越しに娘さんが現れると、患者さんはしきりに手を振り、久しぶりの再会に涙ぐんで言葉に詰まっていました。娘さんは「帰国できない状況で、このシス

テムはとても助かります。久しぶりに母の元気な姿を見ながら話せてとてもうれしかった」と、喜びと感謝の言葉を述べました。「面会は対面であるもの」との固定観念にとらわれていましたが、海外と日本をオンラインで



結んでみて、世界中の誰とも面会可能だと実感しました。
（医事・情報管理課 岡田崇義）

**特養入所中の親との
親子オンライン面会**

〈三重〉明和病院など11

明和病院などで8月か



ら、タブレットを使った「オンラインリモート面会」をスタートしました。

明和グループは、自然豊かな広い敷地内に、病院・特養・障害者施設・訪問看護などの事業所を併設しています。そのグループ全体が面会禁止となる中、今回、特養明和苑と障害者施設の当施設に入所中の親子のオンライン面会が実現しました。当施設入所者の息子さんは当初、画面に映る特養入所中のお母さんの姿を不思議そうに眺めていま

**家族の要望にこたえて
オンライン面会開始**

〈福岡〉大牟田病院

た。
（事務 奥田有紀）

入院期間の長い患者さんご家族の希望を受け、10月1日からオンライン面会を開始しました。当院では5月中旬から7月中旬まで、制限付きの面会を認めていましたが、7月の4連休ごろから、大牟田市内の感染者数

がにわかに増加傾向となり、面会を全面禁止にしました。こうした中で、面会を希望するご家族の声に応えようと、看護部やシステム担当が対応を協議。入院患者さんは病棟の相談室や個室で、ご家族・親族は健診センターの診察室（個室）からパソコン画面を通じて面会してもらおう仕組みを作りました。オンライン面会は、四つの病棟ごとに面会できる曜日を決め、平日は14〜16時の間に1回10分に制限して実施。各人2週間に1回ほどの頻度の事前予約制をお願いしていますが、予約件数は徐々に増えています。

（済生記者 中村 博）



**避難所開設訓練で
感染認定看護師が活躍**
〈茨城〉神栖済生会病院

神栖市が市職員を対象に、新型コロナウイルスと自然災害の複合災害に備えるため7月27日に実施し



た「神栖市避難所開設防災訓練」で、講師として茨城県立中央病院の宮川尚美感染管理認定看護師を招いた講演がありました。宮川看護師は「コロナ禍での感染症疑いのある人への対応」などをテーマに講演。当院の山口芳子感染管理認定看護師が講演の補助を務めました。

**ラジオで大学生に
自殺防止を呼びかけ**
〈栃木〉宇都宮病院

MSWの荻津守参

与（写真中央）が10月6日、宇都宮コミュニティFM・ミヤラジに出演し、自殺をテーマに大学生に語りかけました。

コロナ禍で全国的に大学生の自殺が増え、宇都宮市も同様の傾向がある中、地域全体の支援で自殺防止を図るのが目的です。出演前、大学生パーソナリティーの協力でSNSを通じて学生たちに、ぜひ耳を傾けてほしい

避難所開設訓練を初めて体験した山口看護師は「新型コロナウイルス対策をしながらの動線やソーシャルディスタンスなど注意することが多くあり、市役所と病院が連携を密にして、地域住民の不安を軽減できるよう努めた」と感想を述べていました。

（済生記者 谷田 薫）

と拡散してもらいました。ラジオでは「あなたは独りではない。あなたの声を聞いてくれる場所があるので思い切った相談してほしい」「周りに気になる人がいたら、声をかけてほしい」「コロナ禍の中、地域全体で支え合い、この難局を乗り越えていきましょう」と、それぞれ当事者・周囲の人々・地域住民に向けて呼びかけました。ミヤラジでは今後、よりよいホットライン、いのちの電話、フードバンクの人も出演予定です。フードバンクからは苦学生



へ、相談窓口案内を入れた食料品の配布予定もあります。

（地域連携課 秋山綾香）

**プロ顔負け!!
コロナ対策動画**

岡山県済生会

10月6日、岡山済生会総合病院ホームページに新型コロナウイルス感染拡大防止のための動画を掲載



しました。内容は「これだけは知っておきたい、新型コロナウイルス感染症の基礎知識」など。職員教育の一環として、院内向けに7月中旬に新型コロナウイルス感



染症拡大防止のための動画を作成したのですが、「とてもわかりやすい」「受け入れ病棟、外来の現状がよくわかり、各部署からの応援メッセージに一体感を感じた」と、職員には好評でした。「来院する患者さんにも発信してほしい」との意見を受け、「当院を安全にご利用いただくためのお願い」などを加えて再編集した動画を掲載することになりました。

看護師が中心となり作成した約12分の動画はプロ顔負け!!ぜひご覧ください!

https://youtube.com/3M3UCN_57s



（人事課係長 安東祐子）

**今冬の
新型コロナウイルスに備える
感染対策研修会**

〈大阪〉中津病院

2020年度の感染対策研修会を10月16日に開催しました。職員対象の日本専門医機構認定



新型コロナウイルスの経緯や現況、ウイルスの特徴をはじめ、今後の感染対策についても一歩踏み込んだ内容で、参加者はメモをとりながら、終始真剣に聴講。感染拡大防止対策で人数制限を設けたため、当日参加できなかった職員向けに、後日、動画配信を行なう予定です。

（済生記者 久原市子）

Nursing now

https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nncj/

済生会の看護力が地域をつくる

看護職にフォーカス——Nursing nowキャンペーン展開中

2020年はナイチンゲールが誕生して200年。世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、看護職が持つ可能性をさらに広げる世界的キャンペーンを繰り広げています。済生会の看護職も、地域をさらに健康にするため、医療機関の枠を越え福祉を支える活動へと踏み出しています。

無低&
なでしこプラン

今年度初の無料健診事業 更生保護施設の25人に実施

〈栃木〉宇都宮病院



コロナ禍で延期していた今年度初の無料健診事業を、事前問診などの感染対策を行なった上で、9月15日に実施しました。

県内2カ所の更生保護施設入所中の生活困窮者が対象。頼れる人がいなかったり、生活環境に恵まれなかったり、本人に社会生活上の問題があったりして、すぐに自立更生できない人などです。

民生委員の会合で 無低事業研修

10月14日に開かれた二日市地区民生児童委員協議会の会合に参加し、無料低額診療事業の

NPO法人栃木県就労支援事業者機構が就労支援事業で用意したバスで、25人が来院しました。宇都宮保護観察所や栃木

県就労支援事業者機構とは、2009年度から継続して連携しています。

身長・体重・血圧・視力・聴力・腹囲・肥満度を測定し、採血・採尿・心電図・胸部X線も実施。また内科医が診察しました。

受診者の女性は「費用の問題で健診を受けるのが困難なので、大変ありがたいです。スタッフも親切で、不安なく受診できました。新型コロナウイルスで病院も大変なときに、健診を続けてくれて感謝しています」と述べました。

（地域連携課 秋山綾香）

〈福岡〉二日市病院

研修を行いました。

当院は無低事業の周知のため、地域で定期的にこうした研修をしています。コロナ禍で1年以上実施できずにいました。同じくコロナ禍で休止していた同協議会会合が再開。要請を受け、今年度初めての研修が実現しました。会場の随所に感染予防対策が講じられ、いつもは参加者全員で唱和する「筑紫野



市民生委員信条」も代表1人の発声にとどめるなど、コロナ禍の影響を感じました。

4月以降、収入が減少した人、職を失った人からの相談が増加しています。このようなときこそ、済生会の設立の目的「施業救療」を果たすべく、さらなる周知活動に励みます。

（地域医療連携室 並松秀邦）



衣装協力：
 オーバーシャツ、パンツ
 MISSONI (三喜商事)
 シャツ 08sircus (08book)
 [以上 満島真之介さん]

 シャツ STUDIOUS×CULLNI
 パンツ
 STUDIOUS×SHAREEF
 (STUDIOUS MENS原宿本店)
 [以上 鈴鹿央士さん]

鈴鹿 央士

Ouji Suzuka

すずか・おうし 2000年生まれ、岡山県出身。16歳で映画にエキストラ出演した際、広瀬すずの目に留まり、スカウトされる。2018年よりメンズノンノの専属モデル。翌年、俳優としても活動を始め、映画デビュー作「蜜蜂と遠雷」で数々の映画新人賞を総なめにした。

Hair & Make-up: 阿部孝介 (トラフィック) / Styling: 外山由香里

満島 真之介

Shinnosuke Mitsushima

みつしま・しんのすけ 1989年生まれ、沖縄県出身。2010年、舞台「おそろべき親たち」で俳優デビュー。13年、「風俗行ったら人生変わったwww」で映画初主演。NHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」、映画「キングダム」などで好演。その後も多彩な役柄に挑戦し、注目を集めている。

Hair & Make-up: 齋藤将志 / Styling: DAN

澆漑としたエネルギーは、「今日、生きている」ことへの感謝から生まれる!

召し上がってみたいは？

一方の満島さんは、鈴鹿さんの持ち味である笑顔を引き出すのが、自分の役割だと思っていたそう。主役として特に大事にしたのは「澆漑とした態度」という。「朝、起きるたびに生きている」ことに感謝して生きています。すると、自然とエネルギーが燃え上がり、まわりにも伝染しているいいチームワークにつながるんです。それはどの世界にも通じることだと思います」

さて、本作のテーマでもあるカレーについて、二人の話を融合すると、「カレーとは人間関係そのもの」。それぞれ個性の違う具材が絡み合い、高め合い、そこにしかない独自の味ができあがる。「カレーの唄。」は、素敵な仲間との出会いと縁が絡み合い、温かく、美味しい仕上がりになったという。みなさんも、

ちょっととしたアイコンタクトから、鈴鹿さんの満島さんに寄せる信頼感が伝わってくる。満島さんのモットーは「今の自分

を100%出し切る」こと。片や鈴鹿さんは、ドラマで演じたシャイな青年(二汰)そのままの性格。「もっと素を出せ。も



破天荒なキャラクターの30男と内気な大学生。本来、会おうはずのなかった二人がカレーを通して絆を深めていくドラマで共演した、満島真之介さんと鈴鹿央士さん。物語を地で行くように、お二人は撮影スタジオを笑顔で包み込みました。

Text: みやじまなおみ
 Photos: 広田成太



連続ドラマ「カレーの唄。」

両親に捨てられ、世界中を放浪しながら、一人で生きてきた男・天沢陽一郎は、あるトラブルをきっかけに、芸術家志望の内気な大学生・鈴木二汰と出会う。陽一郎が悩みを抱えた登場人物を誘い、おすすめのカレーと一緒に食べながら、相手の悩みを解決する。都内有名店、隠れた名店など、各話ごとに異なる多種多様なカレーも見どころの一つ。

- 原案: KADOKAWA ■脚本: 山崎佐保子
- 監督: 瀬田なつき、島添亮、金子功
- 出演: 満島真之介、鈴鹿央士、出口夏希、森口瑠子 ほか

10月1日より、ひかりTV、dTVチャンネルにて配信中。10月10日より、BS12 トウエルビにて放送中



©2020「カレーの唄。」製作委員会

口福につぼん

吉井省一



済生会の[病院・施設]がある
県内の市町村

喜んでいただけること間違いなしのおはぎです。

地元素材を生かした
キュートなおはぎ

「おはぎ」とよく似たものに「ぼたもち」があります。実はその違いはあまりはっきりしていません。春のお彼岸の頃に咲く牡丹の花

にちなんで

「ぼたもち」、

秋のお彼岸

の頃に咲く

萩の花にち

なんで「おはぎ」と呼ぶ説は有名。また、もち米を主とするものを「ぼたもち」、うるち米を主とするものを「おはぎ」と呼ぶ地方もあるそうです。

一般的なおはぎは、つぶあん

かこしあんであるんだ素材で野趣あふれる和菓子と相場が決まっています。この「彩り季節のおはぎ」はちよつと、いやかなり違います。「えっ、これがおはぎなの？」と誰しも思う、まるでプチケーキのような小洒落たシルエツト。

食感の良い塩つぶあん、あつさりした味のこしあん、古代米

38 彩り季節のおはぎ 《みつあん》

大分市

を使ったものなど人気のおはぎをはじめ、青海苔・抹茶・クルミなどバラエティ豊かな11種類が詰め合わせになっています。

もちろん、使っている素材も

地産地消にこだわっています。

小豆こそ北海道十勝産ですが、

米は大分県院内で農薬不使用で栽培されたもの、使う水は阿蘇野地区の天然水。黒米・青海苔・きな粉・緑茶なども地元大分産のものばかりです。

見た目だけじゃなく

一つひとつにこだわりあり

11種類のおはぎの詰め合わせ



大分川をはさんでお店の対岸にある碓山(いかりやま)と周辺の田園風景。昔は海に浮かぶ小島だったと伝えられている

え、秋のお彼岸はとつづくに過ぎたのに、今ごろおはぎの話?と思われた方も多いことでしょう。今回ご紹介する「彩り季節のおはぎ」は、その名の通り、季節の移ろいを目と舌で楽しめる、年中無休のおはぎなのです。

保存料など使わず丁寧に仕上げた傑作。見た目も可愛く、味もとびきり美味しい、ご先祖様も

見つけたのは、おんせん県としてただ今猛アピール中の大分県。作ったのは、あん作り六十余年の老舗「大分製館」のお店「みつあん」。5年以上の歳月をかけて開発し、着色料や



割ってみると、中は美しく輝く米粒とぎっしりのあんこが

は、7〜8種類が定番・準定番、残りの3〜4種類が季節によって入れ替わっていきます。その中で主なものをご紹介します。出たてを瞬間冷凍したものが届くので、2〜3時間ほど常温で自然解凍させてからお召し上がりください。

まず、定番で人気なのが「匠の塩つぶあん」。私はおはぎに関してはおはぎ派なのですが、これは匠の名を持つだけあって、塩味をほんのりきかせた程良く上品な甘さ。コクがあつて食感もほつこり。こしあん好きな方には「あつさりこしあん」がおすすめです。あんがとろりと口で溶けて、さわやかな後味を楽しめます。



大分川をはさんでお店の対岸にある碓山(いかりやま)と周辺の田園風景。昔は海に浮かぶ小島だったと伝えられている

直営の店舗で人気を呼んでいるのが「搦餅」。古代米(大分県姫島村産の黒米)を使った中につぶあんがたっぷり。プチプチした食感はおはぎとは思えないほど。でも不思議とあんととの相性がいいのです。

きなこに黒ゴマを混ぜた「きなこ美人」は、きなこの香ばしさとつぶあんのハーモニーを楽しめます。関西地方には青海苔をまぶしたおはぎがありますが、みつあんの「青のり」は国産半

島沖で採れたものだけを使用。磯の香りでむせ返るほどの味わい深い一品です。

こうした定番・準定番のおはぎの他に季節限定のおはぎがあります。春は「桜あん」「ベリベリー(いちごあん)と桑の葉あん」、夏は「すんだあん」「南高梅あん」、秋は「月夜のかぼちゃあん」「焼和栗きんとん仕立て」冬は「紫いもロールあん」など、聞いただけで甘党の頬がゆるんでしまうおはぎが目押し。

これまでのおはぎの枠にとらわれない華やかな見た目と豊かな味わいをお彼岸の時期を超えて楽しめる「彩り季節のおはぎ」。こんな美味しいものをいただける幸せをご先祖様に感謝しながらもう一個、と思わず手が伸びてしまうのです。

写真=10月発送分の11種セット

※みつあんでは「11種セット」を直販していないため、価格と問い合わせのアドレスは、取り扱いのある「おんせん県おいた」(大分県オフィシャルショップ)のものとなります。



11種のうち毎月入れ替わる3〜4種類の選定は、季節の彩りを表現するため、新作の開発を含めて発売ギリギリまで続く。写真=バレンタイン仕様として販売した11種

彩り季節のおはぎ11種セット
3,940円(税込・送料込)※ 賞味期限……冷凍で30日・解凍日より当日中
[クール便発送商品]
通販専用※: <https://item.rakuten.co.jp/onsenken-oita/j4582409020552/>
おはぎの種類は季節によって変わります。11月発送分の組み合わせも写真とは異なります

お問い合わせは
みつあん(大分製館) 〒870-0841 大分県大分市六坊北町5-33-1
TEL: 097-545-1818 FAX: 097-545-5887
営業時間: 10:00 ~ 売り切れ次第閉店(日曜・月曜定休)
ホームページ: www.oitaseian.com/



きらきら☆ クリスマスツリー



ツリー葉・A

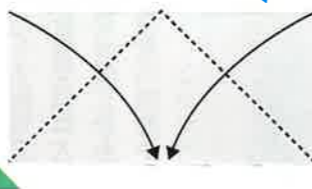
折り紙を半分に折る



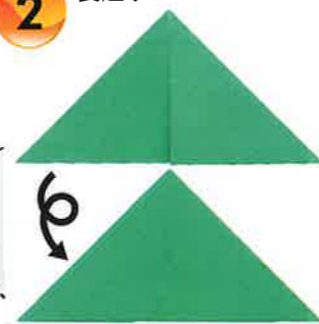
これを2枚
つくる

ツリー葉・B

1 1/2に切った折り紙の
上の角を折る

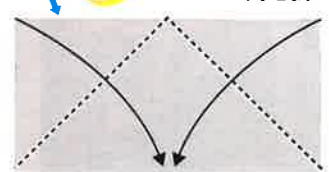


2 裏返す

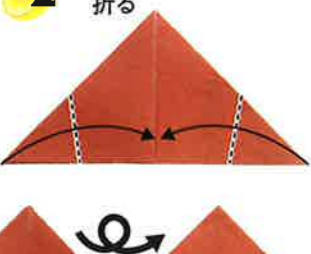


ツリー・幹

1 1/2に切った折り紙
の上の角を折る



2 点線で左右の角を
折る

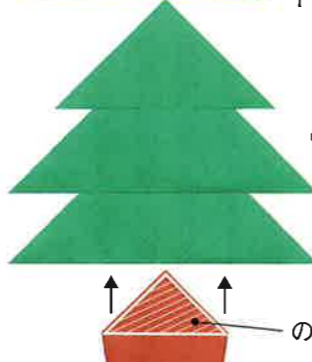


3 裏返す



ツリー・完成

Aを2枚、B1枚を合わせのり付けし、
下に幹をのり付ける



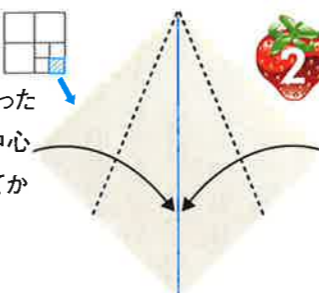
ミニツリーは、葉Aは1/4、
葉Bと幹は1/8でつくる

--- 山折り
- - - 谷折り
↺ 裏返す



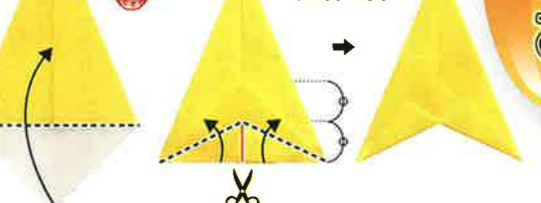
星A

1 1/16に切った
折り紙を中心
線をつけてか
ら折る



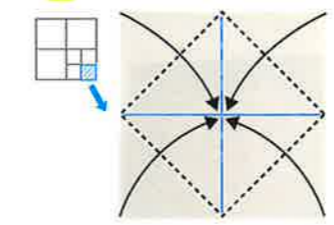
2 点線で
折る

3 下の辺に切り込みをいれ、
左右に折る

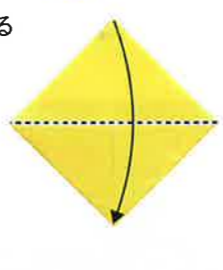


星B

1 1/16に切った折り紙の四つ
の角を中心に向かって折る



2 半分に
折る

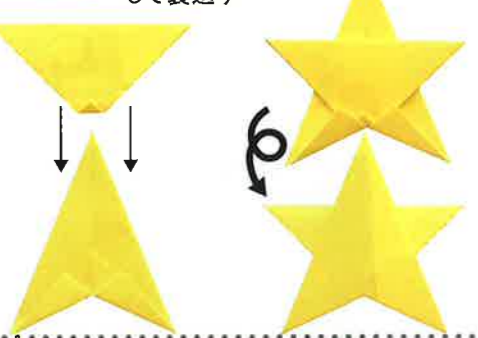


3 点線で
折る



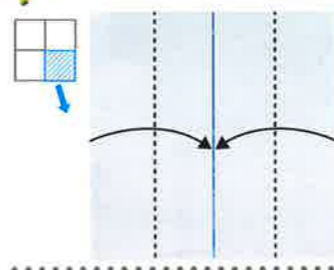
星・完成

星Aに星Bを組み合わせ、のり付け
して裏返す

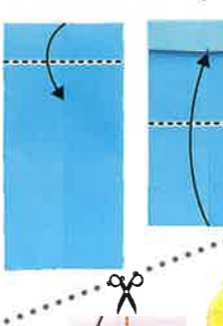


プレゼント・箱

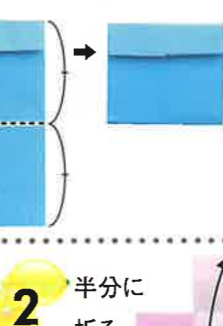
1 1/4に切った折り紙を中
心線をつけてから折る



2 点線で
折る



3 下の辺を上
にさし込む



プレゼント・リボン

プレゼントのサイズに合わせたリボン
を1枚。短いリボンを2枚つくる

プレゼント・完成

長いリボンは表に、短いリボンは
裏にのり付ける

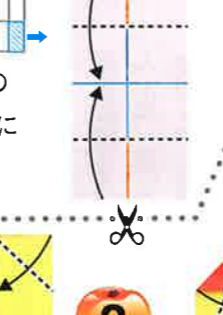


くつした

1 1/8に切った折り紙を図の
ように折り目をつけ、上下に
切り込みを入れて折る



2 半分に
折る



3 図のよう
に折る

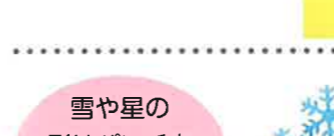


4 裏返す。シールなどで
飾り付け、完成



ロウソク

1 1/8に切った折り
紙に、中心線
をつけてから折る



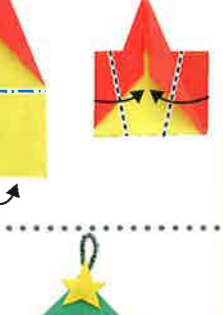
2 図のよう
に折る



3 下の辺を山折り
にする



4 点線で
折る



5 裏返す



雪や星の
形はパンチを
使ってね



完成

ツリーに星、プレゼント、
くつした、ロウソクを貼
り、最後に裏にモール
をつける



【いまいみさ】
手づくりおも
ちゃ作家。折
り紙や牛乳パ
ックなどをリサ
イクルして手づくりの楽しさを伝
えています。著書に『12か月の
おりがみ壁飾り』など34冊。
2011年から、小学校2年の教
科書「こくご」(三省堂版)にも
登場。最新刊は「季節のおりが
み つり下げ飾り」(講談社)

おりがみ協力株式会社トリー



逗子海岸夕景(神奈川県逗子市)
撮影 横浜市南部病院 総務課 高橋良介

topics

ヘルニアセンターを開設しました

〈大阪〉吹田病院

ヘルニア手術のスペシャリスト・植野望科長がこのほど、当院に着任し、ヘルニアセンターを開設しました。ここでいうヘルニアとは、腰痛の原因となる腰椎椎間板ヘルニアではなく、鼠径部ヘルニアや腹壁ヘルニアを指します。植野科長は、これまで消化器外科で主に腹腔鏡下手術を専門に行なってきました。ヘルニアは、がんなど悪性疾患とは異なり、必ずしも生命に危険をもたらす病気ではありませんが、放置すれば大きくなって増悪し、嵌頓(かんとん)内臓器官が腹壁の間隙から脱出し、元に戻らなくなった状態)を起

こす危険性もあります。「ヘルニア・直腸脱はともに、外科医にとって基礎となる病気であり手術です。それゆえに、高いクオリティーの診療を維持していきたい」と、植野科長は意気込みを述べています。10月発行の院外広報誌「ぼんて」の特集記事、また、当院ホームページで詳しく紹介しています。

(済生記者 橋本 茜)

〈鹿児島〉なでしこ保育園 元気いっぱい運動会!

10月10日に運動会を開催し、園児37人が参加しました。例年は屋内で開催していますが、今年はコロナ感染対策のため屋外で実施。応援スペースは白線で区切り限られた人数での応援となりましたが、子どもたちは、ダンスや組み体操などで練習の成果を元気いっぱい披露しました。1歳児のかけっこでは、先生の誘導で「元気」にスタートしたものの、満面の笑顔でおかしな方向へ進んだり、アリの気になり座り込んでしまったり——ほほえましいハプニングの連発に、



会場はほっこりとした雰囲気になりました。スプーンリレーでは、コロナ禍のため使用済みスプーンなどを消毒して次の人へ渡す、寄山敏男園長(川内病院院長)の手の良さに、「さすが院長!」の声も上がる和やかな雰囲気の中、運動会は幕を閉じました。

(済生記者 竹之内美和)

〈兵庫〉特養ふじの里 ケア・アシスタントが活躍

ふじの里は「ひょうごケア・アシスタント」を昨年度3人、今年度は1人受け入れています。「ひょうごケア・アシスタント」は兵庫県が昨年度創設した制度で、地域の高齢者・女性・障害者などが、県内35カ所の介護施設で体に負担の少ない介護の周辺業務を担うものです。高齢者などにとっては、施設やケアの様子を知る機会となり住み慣れた地域で自分にあった働き方ができるので健康維持にもつながります。一方、施設側には介護職の負担軽減などの利点があります。

今年度のケア・アシスタントの藤本吉子さんは、保険会社や区役所などの勤務経験者で、退職後も社会の役に立ちたいと応募。週2回、居室などの掃除をしています。「入居者さんのお話を聞きながら、お部屋の掃除もスムーズにできるように頑張りました」と藤本さん。これからも活躍を期待



しています。ふじの里・なでしこ神戸 管理部長 村田久美

〈静岡〉特養小鹿なでしこ苑 茶寿(108歳)のお祝い

108歳の誕生日を迎えた



利用者さんのお祝いに9月17日、静岡市職員が来苑しました。108歳は「茶寿」。茶の字を分解すると、草冠は十が横に二つ並び、下が八十八となつて、足すと108になります。お茶どころの静岡にぴったり。市の担当者から「お茶を飲んでこれからも元気でいてください」とのメッセージとともに静岡市のお茶が贈られました。当苑からも、似顔絵と職員手作りのボードをプレゼント。ご家族にも来ていただき、たくさん記念写真を撮影しました。これからも元気で長生きしていただけるよう、職員一同介護に励んでいきます。

(済生記者 杉山明日香)

〈山形〉はやぶさ保育園
秋祭り楽しかったよ！

コロナ禍で行事やお祭りが中止になる中、特別に企画した秋祭りを10月7日に催しました。密にならないように年齢ごとに入れ替えをしながら、約120人が参加しました。
東北四大祭りの一つ・花笠踊



りを職員が披露し、打ち上げ花火で秋祭りがスタートです。
お遊戯室に、千本引きや輪投げ、おもちゃすくいなどのお祭

りブースを用意。0〜5歳児が各ブースを回って楽しみました。輪投げでは、欲しいおもちゃをめぐって慎重に投げ、うまくとれると大満足の笑顔！
お昼ご飯もお祭りメニューです。4・5歳児は、チケットで焼きそばを買って、お祭りの雰囲気も舌でも味わいました。

夕方に保護者が迎えに来ると、秋祭りで取ったおもちゃを自慢げに見せ、楽しかった一日の話が止まらない子どもたちでした。
〈済生記者 峯田美咲〉

〈山形〉特養山静寿
養護(盲)老人ホーム山静寿
山形の秋の風物詩・芋煮

養護(盲)老人ホーム山静寿の食堂で、10月14日に芋煮行事を行いました。

山形の秋の名物・芋煮は、施設内で行なう毎年の恒例行事で、入居者さんの楽しみの一つです。当日の昼食時間に、前菜の枝豆とジュース類を提供し、副施設長の乾杯の発声とともに行事はスタートしました。

山形の芋煮は牛肉を使用し、味付けは醤油がベースです。メイン料理の芋煮を配膳すると、



食欲をそそるおいしそうな香りが食堂を包み込みました。入居者さんは、里芋がごろごろと入った具だくさんの芋煮に舌鼓を打ちました。

入居者さんからは「今日の芋煮は最高。芋も柔らかく、ネギも入っていておいしかった」との感想もあり、心も体も温まる楽しいひとときでした。
〈済生記者 丹 秀樹〉

〈栃木〉宇都宮病院
初のWeb心不全勉強会

地域の多職種向け心不全

10月1日から、ケアハウスの入居者さんを中心に昼食で提供。食形態別にお米を炊き、食堂に設置しました。職員が入居者さん一人ひとりに「たくさん食べてくださいね」と笑顔で声をかけながらお茶碗によそと、「私は大盛りね」と会話もはずみました。

この日ばかりはご飯が食べ放題。採れたての新米ご飯を、おなかいっぱい味わっていただきました。

今まさに食欲の秋。コロナ禍で自粛が続く思うように外出できない入居者さんに、少しでも食事を楽しんでいただきたいという思いを込めて、近日中にまた同様のイベントを開催する予定です。
〈済生記者 足立むつみ〉

奈良病院
地域のケアマネと研修会

10月16日に、地域の居宅介護支援事業所と合同の特定事業所研修会を当院で開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加者同士の間隔を開けての実施でした。
初めに当院の長澤忠子看護師



長が、地域包括ケア病棟について講義。病床数・入院期間や利用を希望する際の流れ、退院前後の訪問などのサポート体制などが説明され、患者が安心して生活が送れるようチームで支援していることを学びました。

続いて、困難事例の検討を行ない、参加者から質問・意見・助言が飛び交う活気のある検討会となりました。
超高齢化社会における家族構成の多様化や問題点、各関係機関などとの連携の重要性を改めて実感する研修会でした。
(ケアプランセンター) 神田麻理子
介護支援専門員 神田麻理子



Web勉強会を、循環器内科主催で9月10日に開催し、医療・介護関係者など122人が参加しました。
心不全診療の向上が目的で2月に続き2回目、Webでは初めての開催です。
賛永会さつきホームクリニックの月永洋介理事長に座長を依頼。初めに、当院循環器内科・

上野耕嗣主任診療科長が「新型コロナウイルスと心不全」「かかりつけ医による初期治療と慢性期治療」で講演。続けて、同内科外来・大森美紀看護師が「心不全(リスク)患者の拾い上げ

院内会議室から中継



高橋さんのおいしいお米

〈埼玉〉特養彩光苑

9月2日、地元・内牧地区で農業を営む高橋晃さんから、丹精込めて作った埼玉のブランド米「彩のかがやき」200キロを寄贈していただきました。

観察と声掛けのポイント」について、大根田亨薬剤師が「心不全治療薬の特徴とアドヒアランス向上のためのポイント」について、それぞれ解説しました。当院は、地域の開業医や医療機関と心不全診療連携ネットワークを構築。「心不全を地域で診る」方針で地域チーム医療を推進しています。この勉強会は今後も開催する予定で、次回12月もオンラインで開催します。
〈地域連携課 秋山綾香〉

topics

道の駅の新メニューを開発

10月2日、川俣地域ケアセンターの栄養士8人と川俣町農業振興公社が開発した、道の駅かわまたレストランShamoli(シャモール)の新メニュー「コスキンプレート」を地域住民に披露しました。

コスキンプレートは、川俣町特産の川俣シャモを使ったヘル



れ、とても心がほっこりする敬老の日になりました。

(済生記者 二宮皓司)

うれしいな」。赤ちゃんから5歳児までの映像に、みんなニコニコ。地域のつながりが感じら



シーで高栄養価のワンプレート料理。川俣病院はソーシャルインクルージョン推進の一環として地域住民の健康を共に支え合うため参加しました。

主菜はシャモ胸肉を使ったカツレット。疲労回復(特に脳)や健康維持効果があるイミダゾールペプチドという成分が多く含



〈新潟〉特養長和園 みんなで歌って 気分は秋晴れ

利用者さんに元気と笑顔をお届けしようと9月22日、園内でリサイタルを開催しました。例年は秋の味覚や風物詩を求めて外出しますが、コロナ禍で中止になり、お出かけを楽しみにしていた利用者さんは、やはり寂しそうでした。

そこで、職員のバンドが生演奏するリサイタルを企画。「川の流れるように」「誰か故郷を想わざる」など歌謡曲の名曲や懐かしい歌を披露し、利用者さんと職員が一緒になって歌い、大いに盛り上がりました。

「好きな歌を演奏してくれてありがとう」「久しぶりに大きな声で歌えてスッキリしたよ」そんな感激の言葉をいただき、職員も気分は秋晴れです。みんな笑顔いっぱいの一日になりました。(済生記者 片桐大輔)

〈大阪〉特養富美ヶ丘荘 子ども園から届いた 敬老の日のプレゼント

近隣の寺池台こども園から9



こども園の日常風景や保育士さんの歌など20分の盛りだくさんの映像でした。「わざわざこんなんでもらって

まれます。レモンとサルサソースを添え、さっぱりとした味わいに仕上げました。食物繊維が豊富な麦ご飯に、2種類の副菜も一つのお皿にまとめ、幅広い年代が食べやすく工夫しました。10月3日から同レストランで提供しています。

(済生記者 伊藤和代)

医学会トップジャーナル 「NEJM」に論文掲載

熊本病院

9月24日、循環器内科・奥村謙最高技術顧問が特別講演会を開催しました。

奥村顧問が治験調整委員長を務める第一三共社主導の多施設共同臨床開発治験「ELDERCARE-AF」試験・超高齢心房細動患者における低用量エドキサバン(15ミリグラム)の有用性と安全性の検討」



が、8月30日の欧州心臓病学会(ESC2020)で発表され、同日、医学界トップジャーナルの一つ「New England Journal of Medicine」に掲載されました。

本研究は、今後国内における高齢者の心房細動の薬物療法が、安全かつ効果的に行なわれる可能性を示唆した画期的な結果といえます。

これを受けての院内の特別講演会です。奥村医師からは「高齢化がさらに進行するわが国においてこの研究が今後の臨床の一助になれば」とのコメントがありました。研究内容を共有するとともに奥村医師の快挙を称える機会となりました。

(済生記者 森本通子)



月17日、敬老の日のプレゼントとビデオレターが届きました。富美ヶ丘荘は例年、敬老の日には敬老祝会を実施。ここ数年は同園の園児がお祝いにきて、歌やダンスで盛り上がっています。入居者さんは今年も楽しみにしていたのですが、コロナ禍で中止しました。

そこに届いた100人の入居者さん一人ひとりに園児が手作りしたプレゼントとビデオレター。早速、密を避け、ユニットごとに上映会を行いました。

〈大阪〉吹田病院
ラジオ大阪に出演



10月16日、ラジオ大阪のスタジオで、岡上武名誉院長、島俊英院長、水野智恵美副院長、竹中英昭副院長の4人が参加してラジオ収録が行なわれました。当院職員が11月からの毎週土曜日の朝7時からラジオ大阪で放送される「桑原あずさのアズライフ」の中の「ワンポイントホスピタル」のコーナーで、医療や健康に関するさまざまな情報を発信することになりました。

この日は11月分の収録があり、慣れないラジオ収録に緊張する医師もいましたが、和気あいあいとした現場でした。パーソナリティの桑原あずささんとの対談で、普段はなかなか聞けない先生方のお話も披露されました。

11月以降も順次、当院職員が収録を行います。放送エリアは、西は大分・福岡県の一部、東は愛知県や岐阜県の一部までと広範囲に及び、およそ20万人に聴いていただけます。

ぜひ多くのリスナーにお聴きいただき、皆さんの医療や健康に貢献したいと思っております。

(総務課 中川祐紀)

吹田病院
がん治療の進歩を講演



吹田市立内本町コミュニティセンターで10月17日、市民公開講座「ご存知ですか? ここまで進歩したがん治療」を開催しました。感染症対策を徹底し、吹田市・摂津市などの住民ら23人が受講しました。

内容はがん治療に関する4講座で、①肺がん(呼吸器外科・西村元宏科長)②泌尿器がん(泌尿器科・中村晃和科長)③膵がん(消化器外科 吉川卓郎科長)④当院のがん診療におけるサポート

ト体制(診療情報管理課・池末専門師長、福祉医療支援課・中村MSW)。

質疑応答では多くの質問が寄せられ、参加者の関心の高さがうかがえました。アンケートでも、先生方の貴重な話が聞けてよかったなどの声が聞けました。今後も地域住民のニーズに合わせた講座を開催していきます。

(総務課 岡利悟志)



〈栃木〉うつつのみやなでしこ
子どもの環境教育でW受賞

10月9日のQCサークル栃木地区45周年記念大会で事例発表した「保育園における環境学習の取り組み 身近なものに触れることで育つ力」が、SGH(事務・販売・サービス)部門で、QCサークル栃木地区賞と、栃木県知事賞をいただきました。

当園は、昨年度からQCサークル活動で「物を大切にすること、無駄にしないこと」をコンセプトとした環境教育を保育に取り入れています。

その活動を通し、園児の好奇心や探求心を育てる環境をつくるため、

①身近なものに触れ合う中で、さまざまなものに興味や関心を持つ②さまざまなものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えようとする③見る・聞く・触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする必要性と効果がある——ことがわかりました。

今後も子どもの主体的な活動を促しながら、よりよい保育環境をつくっていきます。

(事務職 福田 郁)

特養なでしこ香川
プチ緑日を楽しんだよ

9月24日にプチ緑日を行いました。

9月は3年連続で、香川県済生会病院と合同で済生会フェアを開催していましたが、今年



コロナ禍で中止。近隣の秋祭りも軒並み見送られ、この秋は季節を感じるような行事がほとんどありません。

そこで、ユニット職員が中心となり、秋祭りの雰囲気味わってもらえるプチ緑日を計画。かき氷やスタック特製のすずかステラを食べ、ヨーヨーつりを楽しみました。限られた時間でしたが、楽しい時間を過ごしてもらえ、スタッフはホッと胸をなでおろしていました。

新型コロナウイルスの終息には、まだまだ時間がかかりそうです。新しい生活様式を取り入れながら、これからも入居者さんに寄り添い、穏やかな時間を過ごしていきたいと思っております。

(施設長 浄土明大)

特養なでしこ香川

い長寿番付でお祝い

デイサービスで9月18日に敬老会を開催しました。

昼食は、天ぷらを利用者さんの目の前で揚げ、栗赤飯・茶碗蒸しと一緒に提供。皆さん大喜びで「今日は最高の昼飯だ!」と、いつもより箸が進みました。午後のレクリエーションの時

間は敬老の行事を実施。最年長の利用者さんを横綱と呼び、以下、大関、関脇と紹介し、ささやかながら表彰しました。見事、横綱になった人は99歳ですが、年齢を感じさせない若さで、周囲は驚いていました。その後、みんなで歌やゲーム、体操を楽しみました。

コロナ渦で地元の小中学生との交流会やボランティアの慰問がすべて中止となり、楽しみが減っていました。その中でスタッフ時間がかけて準備し、進行で盛り上げ喜んでくれたことをとてもうれしく思いました。(施設長 浄土明大)



〔福岡〕大牟田ライフケア院
託児所の園児と芋掘り

毎年恒例の秋の芋掘りを10月15日に行ないました。

大牟田病院の託児所に通う園児たちも参加して、デイケアの利用者さんは子どもたちとの交流も楽しみながら、慣れ親しん



だ畑仕事に夢中になり、みんな協力して大収穫でした。中には自前の鍬を準備し、前日から心待ちにしていた方もいたようです。

利用者さんが子どもたちに教える姿や、一緒に鍬を持って作業するのを見て、お互いに刺激になり、よいひとときを過ごせたのではと感じました。

園児たちは小さなスコップで一生懸命に土を掘り、周囲に泥が飛ぶのもご愛敬で、夢中になって芋掘りを楽しんでいました。収穫後に園児たちの「やった!!」というかわいらしい歓声が湧き、この時期ならではの楽しい行事となりました。

(済生記者 竹部 憂)

滋賀県済生会看護専門学校
看護師養成所西ブロックで
初のリモート合同講義

済生会看護師養成所西ブロック（大阪・岡山・滋賀）は9月25日、災害医療支援の合同講義をリモートで行ないました。

例年、岡山県吉備高原で行なっていた災害救護訓練はコロナ禍で中止。代わりに岡山済生会看護専門学校が、岡山済生会総



合病院救急科の稲葉基高医師に依頼し、西ブロック合同のリモート講義が実現しました。西日本を中心に大きな被害が出た平成30年7月豪雨災害時の

動画や写真を見ながら、稲葉医師から医療活動や避難所支援の貴重な体験談が紹介されました。「この状況下で自分は何をすべきか」として、何をすべきかをグループで話し合い、リモート下で発表したりチャットで意見を交わしたりしました。

リモートの合同講義は初めての試みでしたが、安全の確認や情報伝達の大切さを学ぶ有意義な機会となりました。

(副学校長 黒川順子)

山口総合病院
新病院の建築工事起工式

山口総合病院建築工事起工式を9月29日、建築予定地で行ないました。

式には来賓の渡辺純忠・山口市長、地元自治会長、町内会長をはじめ、村田雅弘支部長、城甲啓治院長、設計事務所・工事関係者など約20人が出席。村田支部長らによる鍬入れに続き、関係者が玉串などの儀式を行な



いました。マスコミも取材に訪れ、城甲院長が「救急医療の充実と強化を図り、職員一丸となって、地域から信頼される病院を目指

す」と抱負を述べました。完成は2027年2月の予定。新病院では高度急性期・急性期機能を維持し、救急医療にも力を入れます。なお、工事期間中も診療は継続します。

(建築準備室 白井啓二)

岡山済生会ライフケア
センター

コミュニティカフェ再開

コロナ禍で休業していたコミュニティカフェを、10月2日から月1回開催の予定で再開しました。

コミュニティカフェは、月2回開催の地域の皆さんの交流の場で、ミニコンサートや体操教室、健康講座などを開いて、地域に根付いていました。休業後は再開についての問い合わせが多く、運動不足や話し相手がないなどの相談も受けました。そこで場所を広い会場に変更、入念な感染対策も実施して再開することになりました。

再開当日は口コミで26人が参加。お互いのコロナ禍の生活などで話が弾み、カフェの再開と久しぶりの再会を大変喜んでいました。

今年の夏は自粛ばかりだったので、カフェの最後に盆踊りをしてお祭りの雰囲気味わった参加者は、「久しぶりに体を動かすことができてよかった」と少しすっきりしたようでした。プログラムを工夫し、これからも地域の皆さんに楽しんでいただけるよう続けていきます。

(済生記者 前田明子)

〈三重〉明和苑デイサービス

特別な記念品で
長寿のお祝い

デイサービス利用者さんの敬老会を9月14・17日と21日の5回催しました。

例年はボランティアの大正琴演奏を行ないますが、新型コロナ

ナ感染対策で中止。そこで、利用者さん全員に手作りの記念メダルをプレゼントしました。さらに90歳以上の人には記念状を、100歳以上の2人には木製の鶴の絵柄のメダルをお渡ししました。

鶴のメダルはデザイン・彫刻・着色を工夫し、メダルを置く台紙は紅白の「寿」の字の切り絵を手作り。利用者さんは、「家の一番よく見えるところに飾るわ。ありがとう」と感激していました。

感染対策で制約のある中みんで長寿をお祝いすることができ、二度とこない今日を大切に利用者さんと共に過ごしていきたいと思いました。

(デイサービス 木下将希)



通報したところ、「認知症の親を警察に突き出した」と家族からクレームがあり、認知症の情報も事前にもらうよう改め、いまでは約20人を把握。買い物にきたらレジを通した後に家族へ連絡するなど、地域で見守っているということでした。



地域の事業所に実情を聞くと、高齢者が病院の診察券で商品を買おうとしたり、「通帳を失くした」と窓口で相談したりする事例が報告されました。
ある商店では高齢者がレジを通らずに帰ろうとするのに気づき、マニュアルに従って警察へ



敬老会を9月29日に3階の交流スペースで行ないました。例年はご家族がたくさん参加するにぎやかな行事ですが、今年は

〈山形〉特養愛日荘 全館に中継！敬老のお祝い

関係者間の情報共有のため、継続して開催していきます。
(済生記者 山下芳樹)

秋の防火防災訓練を10月8日に実施しました。
今治病院では毎年、春と秋にこの訓練を行なっています。始めに「地震で院内に火災が発生し

秋の防火防災訓練

（愛媛 今治病院）

入居者代表のあいさつでは、各祝いの年の方々があいさつし、このお祝いの式典や、日頃の健康管理に対する感謝の言葉をいただきました。
最後に、職員の佐々木ちはるさんのエレクトーンに合わせて、美空ひばりの「川の流れるように」をみんなで楽しく歌い幕を閉じました。
(済生記者 高橋 睦)



と想定した避難訓練。職員ごとに、患者さんの避難誘導、消火作業、被害状況の把握の役割を決めて機敏に動きました。
次は屋外で消火器・消火栓の使用訓練。今年度の入職者はもちろん全員参加で、初めての消火活動などの訓練を通じ、防災の大切さを改めて学びました。
いつもは稼働中の病棟で行なう避難訓練を、患者さんのいないフロアに場所を移して実施するなど、コロナ禍での感染対策も講じました。万が一の事態にもしっかりと対応できるよう、今後も訓練を重ねていきます。
(済生記者 越智美華)



がん患者さん向け オンライン市民公開講座

9月25日、がん征圧月間に合

福井県済生会病院

わせ、「がん患者さんと新型コロナウイルス」がテーマの市民講座を、当院ホームページで公開しました。

治療や重症化リスクなどががん患者さんの不安や悩みを軽減しようとして、当院の専門医が分かりやすく解説しています。

オンラインの市民公開講座は初の試みで、事前収録では緊張気味の医師も。一方的に話すのではなく、市民が聞きやすい対談形式にするなど工夫しました。

集学的がん診療センター長の宗本義則副院長は「この講座で正しい情報を得て、一人で悩まずに主治医やがん相談員に相談してほしい」と呼びかけました。動画は12月末まで自宅や入院先から、パソコンやスマートフ



◆一般的な放射線治療で
免疫力が低下することはありませ
◆免疫力の低下は、免疫を司る
白血球が減少することにある



オンで閲覧できます。

(済生記者 吉川千恵)

〈兵庫〉特養ふじの里 盛大に「敬老祝賀会」

全50人の入居者さんのうち、体調の悪い人を除いた皆さんで、9月18日に敬老祝賀会を盛大に行ないました。

入居者さんはもちろん職員にとっても、敬老を祝う心が伝わるひとときとなりました。
(ふじの里西館介護士 中澤麻由美)

昼食も特別に豪華なお弁当を外注。これには入居者さんも、「今までで一番豪華」と大喜びでした。

有野台地域ケア会議

特養ふじの里

有野台の地域ケア会議を10月4日に有野台会館で開催し、地域の民生委員、事業主等27人が参加しました。

議題は、①有野台の見守りの資源と地域力の確認および有機的連携②「見守りを受けている高齢者の実状」アンケート結果報告③情報共有の三つ。

〔静岡〕川奈臨海学園

色とりどりの花で
幸せな気持ち

生花の匂いや肌触りを体験し、花のある豊かな連休を過ごしてもらおうと、9月19日に、お花屋さんイベントを行いました。



当日仕入れた26種類の花、100本以上をホールに並べると、子どもたちは大歓声。秋の七草の一つフジバカマ、山野草を代表するリンドウをはじめ、トルコキキョウ、ガーベラ、色とりどり種類豊富なバラも用意しました。ケイトウやカラ、セダム、エリンジウム、アンズリウムなど、普段見かけることの少ない花もあります。子どもたちは間近で珍しい花にも触れて好きな花を選び、シールや色紙を貼って作ったペトトポトル花びんに生けて、部屋に飾りました。

〔児童指導員 栗原樹生〕

〔島根〕高砂ケアセンター
4人の百寿をお祝い

今年100歳を迎えた4人の入所者さんに、内閣総理大臣からお祝い状と記念品、市から記念品が届き、9月18日と23日にささやかなお祝いをしました。例年は市役所から担当者が来て贈呈してくれるのですが、今



年はコロナ禍の面会制限で、栗村敬施設長から手渡ししました。100歳の皆さんはとても感謝し喜んでいました。1階フロアでは、職場体験に来ていた中学生もお祝いの会に参加しました。

島根県は人口10万人当たりの100歳以上高齢者数が127・6人で8年連続全国一

ということもあり、ここ数年で一番人数の多いお祝いの会でした。

〔済生記者 寺坂修二〕

〔大阪〕吹田病院
島院長がプラチナ食を試食

入院患者さんが希望に応じて選択できる特別メニューの「プラチナ食」を9月24日、島俊英院長が試食しました。全5種類から院長が選んだの



は、9月からの新メニュー「エビのチリソース」。食事が机に並べられると、まず見た目の豪華さに驚き「本格的ですね、おいしい」と完食していました。入院食は治療の一環で、退院



後の食事のお手本でもありますが、患者さんにとっては入院中の楽しみの一つ。「プラチナ食」は現在、週5回、夕食時に提供していて、1食につきプラス300円（税別）をいただいています。栄養量は医師の指示に基づき、病状や食物アレルギーによっては選択できない場合もあります。現在、選択メニュー対象者の1割が「プラチナ食」を選んでいきます。患者さんの健康と笑顔のために、管理栄養士・調理師の創意工夫は続きます。

〔済生記者 橋本 茜〕

〔滋賀〕看護小規模多機能型
居宅介護事業所なでしこ草津
座学と実地訓練で防災体得

防災月間にちなみ、火事を想定した防災訓練を9月30日に実施、利用者さん11人と職員9人が参加しました。

訓練に先立ち、全員で消防訓練のDVDを約20分間鑑賞し、その学習成果を携えて、避難訓練に臨みました。

頭では理解していても、実践するのは難しいものです。職員同士の声の掛け合いや利用者誘

福井県済生会病院

同僚が素顔を初公開!
新入職員フォロー研修

新入職員フォロー研修を10月9日に開催し、今年度入職した医師や看護師など62人が参加しました。

コロナ禍で歓迎会・研修会が軒並み中止で、希薄になりがちな新入職員同士の絆を深め、いっそう洗練と業務を行なってもらい狙いです。

検温や手指消毒、施設課職員が手作りしたアクリルボードをテーブルに設置するなど感染防

導であたふたする場面もあり、大変勉強になりました。

続いて、避難した利用者さんと一緒に水消火器で消火訓練をしました。参加者は「消火器の扱い方をよく理解していなかったのよ！経験になった」と話していました。

万が一、避難を要する事態が起こっても今回の訓練を生かし、慌てず適切に状況判断・誘導を行ない、利用者さんと職員の安全を守ります。

〔済生記者 近野哲史〕



止を徹底し、アイスブレイクではマスクを外して自己紹介。初めて同僚の素顔を見た人もいたかもしれません。

第1部は人材育成事業を手掛けるヴィジョンナリー・ジャパン社の鎌田洋氏が「あなたは、なぜ今ここにいるの？」をオンライン講演。第2部は「最近仕事で言われたありがたののエピソード」「患者さんの立場で考える」などをテーマに、交流を深めました。

約4時間の長時間研修でしたが、参加者は「普段話せない職種の間と話せてよかったです。楽しかった」と笑顔でした。

〔済生記者 吉川千恵〕

〈愛媛〉 松山乳児保育園
みんなでお祭りごっこ



お祭りごっこを10月6日に行ないました。
園児たちは法被はっぴを着て鉢巻きを締めると気分が盛り上がり、あちこちで「かっこいい!!」と互いに見せ合う姿が見られました。みんなで絵の具や折り紙で色とりどりに飾り付けたおみこし

を担ぎ「わっしょいー! わっしょいー!」と練り歩きます。0歳児もおみこしに触れ、雰囲気を楽しみました。2歳児クラス19人は、保育園前のコミュニティ道路に出て、地域の人たち「かわいいおみこしね」と声をかけてもらいました。

〈茨城〉 龍ヶ崎済生会病院
コロナ禍でも健康に



つたりしながら喜んで食べ、味覚でもお祭りを楽しみました。
(済生記者 乗松恵理子)

リハビリテーション科の星出達郎PTが10月1日、龍ヶ崎市地域包括支援センター主催の健康教室で「体の衰え、気づいていますか」と題し講演しました。

この教室は、おおむね50歳以上の市民を対象に5年前から年間4講座実施し、当院のリハビリ職種と管理栄養士が講師を務めています。昨年は各講座50人程度の参加者がいましたが、現在はソーシャルディスタンスに

配慮した定員制限で、市民11人が参加しました。
講演ではロコモティブシンドロームやサルコペニア、フレイルの講義に加え、立ち上がりテストなどでロコモ度をチェックし、予防体操も行ないました。



参加者は「こんなに体力が落ちていたとは思わなかった」と体力の衰えを実感して、健康体操を続けようと思ったようでした。
(済生記者 丸山健太)

新潟病院
内部インタビューで
ISOの運用状況チェック



9月14日から約3週間にわたり、ISO規格に関する内部インタビューを実施しました。当院のマネジメントシステムが、

国際標準化機構（ISO）の制定する品質要求に適合しているのか、認証取得の効果が出ているのかを確認するためです。

内部インタビューの約120人の多職種職員が、2、3年ごとに異なる部署や委員会を訪問。規定のチェック項目に關し「分かりやすい言葉遣い」「態度」「雰囲気」などを重視し



「風船アート」の
ボランティア

静岡医療福祉センター
成人部

ながら、現状について約1時間インタビュー。今年度も多職種の視点ならではの、さまざまな課題や気づきが得られました。
課題や気づきはPDCAサイクルを意識しながら継続的に改善し、よりよい病院運営と医療の質向上につなげていきます。
(TQMセンター事務員 延命美沙)

10月15日、毎年成人部で行なう「あおば祭り」に、65歳以上の演芸活動で活躍する地域の元気なシニアにボランティアとして参加してもらいました。これは、シニア世代の介護予防・生きがいづくりと地域貢献を目的とした地域包括ケアの事業の一環でもあります。今年度はコロナ禍で依頼が少ないそうです。今年のテーマは「風船アート」。ボランティアさんは年齢を感じさせない細かな手つきで次々に風船アートを完成させてお祭りが終わると、施設内は

福祉実習生と利用者さんで作成した風船による絵、職員と利用者さんで作成した飾り、ボランティアさん作成の風船アートに彩られ、とても華やかに。



〈愛媛〉 西条特養

プレゼントは
お守りストラップ

9月21〜26日の敬老週間にあわせて、デイサービスの利用者さん全員85人に、職員がビーズで作ったお守りストラップをプレゼントしました。
末広がりで縁起が良いひょうたん形のお守りを、さまざまな色の組み合わせで作って用意。



利用者さんのテーブルを回り、好きなものを選んでもらいました。
「まあ、きれいに作ってるね」「こっちはかわいいし、こっちはきれいだし、いろんな色があつてどれにするか迷うね」と利用者さん。順番を待ちきれず、他のテーブルに見に来る人も。手提げ袋やバッグにつける人や、「開けるのもつたいないから家に飾るとよ」という人もいました。敬老の日の記念になる贈り物ができて良かったです。
(済生記者 村尾友和)

共有できた有意義な研修でした。
 (薬剤部主任 檜山知美)

〈埼玉〉川口総合病院
台風に向けて防水板を点検
 台風季節に先駆けた防水板の点検・訓練を、9月22日に実



やがん化学療法レジメン(治療内容)について、薬剤部の仁平幸子係長が講演。参加者からは、がん化学療法や経口抗がん剤処方における注意点に関する質問を受けました。

患者さんの個人情報保護など、がん化学療法を進める上で、患者さん・病院・保険薬局が信頼関係を構築することの重要性を

設置場所は、正面玄関等メイ
 ロープ、通用口など思っていた
 以上に多く、保管場所や保管方
 法も異なるので事前の把握が重
 要です。取り付けに器具が必要
 な場所や女性だけでは難しい部
 分などもあり、実際に見て触れ
 て確認できる貴重な訓練でした。
 昨年10月、東日本に記録的な

実施しました。
 警備責任者と施設管理課職員
 の指導の下、佐藤雅彦病院長を
 はじめ、看護部長・事務部長代
 行・事務職員など約20人が参加
 近隣の川の氾濫に備えて、防水
 板の設置場所・保管場所、取り
 付け・取り外し方法を確認しま
 した。



「フロア」秋の大運動会」を10
 月13日に実施しました。
 フロアごとに赤組と白組に分
 かれ、選手宣誓後に運動会はス
 タート。「お手玉コップリレー」
 「人間風船あて」「応援合戦」「借
 り物競争」「玉入れ」の五つの

秋の大運動会でハッスル
 (山形)老健フロアさいせい
 昨年初開催して好評だった
 「フロア」秋の大運動会」を10
 月13日に実施しました。
 フロアごとに赤組と白組に分
 かれ、選手宣誓後に運動会はス
 タート。「お手玉コップリレー」
 「人間風船あて」「応援合戦」「借
 り物競争」「玉入れ」の五つの



た時間になりました。
 誰もが優勝者でした。心も
 体も元気になったみなさんと、
 日々の生活を楽しみながら過
 していきます。
 (済生記者 山田沙也加)

競技で熱戦が繰り広げられまし
 た。
 運動会はいくつになっても盛
 り上がるイベントのようです。
 利用者さんも職員も子どもによ
 うに、終始「がんばれ!!」「そ
 れ行け!!」の声援が飛び交い、
 必死な中にも爆笑ありの白熱し



「コロナ禍でも検診を」
 乳がん月間に啓発活動
 滋賀県病院
 乳がん
 月間の10
 月、乳が
 ん検診の
 重要性を
 啓発する
 ポスター
 をエント
 ランスホ
 ールに掲
 示しました。
 コロナ禍で検診の受診
 者数が減少している中で、
 大々的な啓発イベントは
 難しくても、乳がんにつ
 いて考えるきっかけにな
 ればと、当院の乳腺チー
 ムが企画したものです。
 チームのスタッフは
 「乳がんは早期発見・早期
 治療が重要な病気で、定
 期的な検診がとても大切
 です。皆さんが、乳がん
 について考えるきっかけ
 になればと思い、ポスタ
 ーを作って掲示しました。
 どの医療機関も感染対策
 を徹底しています。たと
 えコロナ禍でも、私たち
 は、がん検診を受けたい
 という選択をしています」と
 示しました。



語ってくれました。
 (済生記者 西澤真由美)

〈奈良〉中和病院
**ロータリークラブから
 車いす3台寄贈**
 中和病院がある桜井市を中心
 に奉仕活動に取り組む「やまと
 まほろばロータリークラブ」(北
 川慈照会長)から、車いす3台
 が寄贈されました。同クラブの
 社会奉仕事業の一環で、今年で
 5回目です。
 当院で行なわれた寄贈式には、
 北川会長や池側義嗣社会奉仕委
 員長が出席。北川会長は「病院
 を利用される多くの人々に有効

がん化学療法の
 病薬連携研修会
 薬剤部主催のがん化学療法病
 薬連携研修会を10月7日、当院
 ホールで行ないました。
 開催目的は、患者さんに質の
 高いがん化学療法を提供するた
 めに、保険薬局との連携体制を
 整備することです。
 コロナ感染対策のため、定員
 を設け、地域の保険薬局薬剤師
 がん化学療法に関わる当院職員
 など38人が参加しました。
 内容は「質の高い外来がん化
 学療法を評価する連携充実加算

に使ってほしい。今後も継続し
 ていきたい」とあいさつし、当
 院の中島祥介院長に車いす2目
 録を贈呈しました。
 中島院長は「毎年車いすを寄
 贈していただき、本当にありが
 たいことです。患者さんも職員
 もとても喜んでいきます。これか
 らもよろしく願います」と
 謝辞を述べ、感謝状を北川会長
 に手渡しました。
 車いすは、外来や病棟に配置、
 多くの人が利用しています。
 (済生記者 辻内雅彦)

〈大分〉 日田病院

笑顔の花咲く
ミニミニ運動会

日田病院の託児所などでこは
9月19日、ミニミニ運動会を開
催し、園児4人・保護者9人・
スタッフ5人が参加しました。
コロナ禍で開催が危ぶまれま
したが、幸いにも大分県内では
1週間以上新規感染者ゼロが続
き、感染対策を徹底して決行し
ました。



当園の運動会は保育参観を兼

ねた親子参加型。保護者は、プ
ログラムの前半は目隠しをした
別室から競技を見守り、必死に
声を抑えながら応援。後半から
は保護者も参加し、親子ダンス
で「エビカニクス」を楽しく踊
りました。両親が現れると園児
は少々甘え気味でした。

園児たちの成長を目の当たり
にした保護者や先生たちはうれ
しそうな表情で、子どもたちも
メダルをもらって満面の笑顔。

会場中に、今年の運動会のテ
ーマ「笑顔の花を咲かせよう」
の光景が広がりました。

（総務課 鷹野勇介）

〈山口〉 下関総合病院

緩和ケア週間に
ウィッシュツリー展示

がん診療連携拠点病院の当院
は、今年も緩和ケア週間の10月
初旬に普及・啓発イベントを行
ないました。

コロナ禍のため、緩和ケア普
及ポスターや、患者さんやご家
族が願いを記したウィッシュツ
リーの展示のみ実施。ツリーに
は「早くコロナが収束するよう
に」という願いが多く見ら
れました。



近年の緩和ケアは、がんの患
者さんだけでなく、慢性腎不全
などの慢性疾患の患者さんもお
り、入院中のみならずは家族に
もなかなか会えず不安を抱えて
います。

ご家族も同様に不安な毎日
過ごす中で、少しでも安心して
治療が受けられ穏やかな日々が
送れるように、チーム一丸とな
りすべての患者さんに寄り添っ
ていきます。

（緩和ケアチーム 柴田敏子）

〈茨城〉 常陸大宮済生会病院

優良看護職員2年連続受賞

茨城県優良看護職員知事表彰
式が10月8日に茨城県庁で行な
われ、当院の小橋しほの副看護
部長が表彰を受けました。

小橋さんは2006年の開
院時から外来・手術室の看護師
長を務め、部署の立ち上げや運
営に尽力。2010年からは
副看護部長として看護部全体の



管理に携わり、現在は医療安全
管理者として院内のマネジメント
にも貢献しています。

院外活動でも、茨城県看護協
会の看護・医療安全推進委員と
して6年間活動。地区の医療安
全交流会を開催するなど、活躍
は多岐にわたります。

今回の受賞について「良き先



輩のご指導と、良き同僚に恵ま
れたおかげで今日の私があります。
これからも今まで以上に、仕事
に邁進する所存です」と決意を
新たにしていました。

昨年は鈴木典子看護部長が同
表彰を受けており、当院から2
年連続の受賞となりました。

（済生記者 後藤 睦）

岡山済生会看護専門学校

5カ月遅れの戴帽式

10月3日、5月から延期して
いた第45期生72人の戴帽式を催
しました。

新型コロナウイルス感染症が
終息していないため、戴帽する
2年生と職員のみで挙行。出席
できない家族には、岡山済生会
総合病院情報管理課の協力
でYouTube配信しました。

戴帽式を終えた学生は「気が
引き締まり、看護師になりたい
気持ちが強くなった。実習を頑
張りたい」と抱負を述べ、配信
を見た家族からも「感動した」
という感想をもらいました。

5月時点では、今年の開催は
無理かもしれないと思いまし
たが、職員一丸で会場の設営や
感染症対策、ライブ配信などに

工夫を凝らし、従来以上に熱を
込めた戴帽式ができました。
ナイチンゲール生誕200
年の今年は、感染症拡大という
予期せぬ困難に見舞われました。
その中で戴帽式を終えた学生に
は、改めて看護師になる決意が
芽生え、今だからこそ医療従事
者である看護師の重要性を痛感
したと思います。

（済生記者 宮崎真希）



ピンクにライトアップ

福井県済生会病院

乳がん検診も大切です

「コロナ禍の今、乳がん検診も
大切です」をテーマに、10月
のピンクリボン月間中、来
院者や地域住民に向けたピン
クリボンキャンペーンを実施し
ました。

例年行なう院内の装飾やライ
トアップ、乳腺科医師によるメ



ッセージボードを展示。さらに
今年は、女性診療センターで乳
がん看護認定看護師による乳房
チェック（プレスト・アウェア
ネス）セミナーや、乳がん経験
者によるがん相談会も初めて開
催しました。

また、ケーブルテレビの特別
番組に乳腺外科専門医の笠原善
郎副院長が出演。「40歳になっ
たら2年に一度は乳がん検診受
診を。プレスト・アウェアネス
を生活習慣に取り入れて自分の
乳房のいつもの状態を知り、変
化がないかチェックしてほしい」
と呼びかけました。

（済生記者 吉川千恵）

〔福岡〕特養むさし苑
百寿を祝う敬老会



恒例の敬老会を、100歳の利用者さんの誕生日当日の9月10日に、なでしこ2丁目ユニットで行ないました。新型コロナウイルス予防のため、ユニット単位で規模を縮小して開催。面会制限でご家族は同席できませんでしたが、入居者さんは家族から届けられた衣装と帽子を身に着けてご満悦。衣装の桃色に負けない、満面の笑顔で喜んでいました。

田中俊太施設長がお祝いの言葉を読み上げました。祝辞では「100年前の平均寿命は何歳？」とクイズも出され、入居者さんや職員は「50〜60歳」と回答。「正解は40代」と聞いて参加者全員が驚き、現代の長寿社会を実感しました。この日のベストショットは当苑ホームページの会員専用ページに掲載。アルバムを作成し、



後日家族にお渡ししました。
(済生記者 御手洗忠彦)

〔埼玉〕鴻巣病院
職員41人が献血に協力

8月26日に献血を実施し、41人の職員が協力しました。当院は毎年3月と8月の2回、埼玉県赤十字献血センターが行なう献血に各回30人前後の職員が協力しています。コロナ禍のため、血液センター職員と協力し、万全の感染対策を講じたうえで実施しました。

献血は業務時間内に実施するため、開始時刻に人が集まらず心配しましたが、各部署で業務を調整し、最終的には近年最多の参加者数でした。



埼玉県では常に輸血用血液が不足しています。他県に協力を仰ぐことも多く、コロナ禍の今はますます厳しい状況にあるそうです。

精神科単科のため輸血処置はほぼ行なわれない当院ですが、輸血を必要とする患者さんのため、今後も病院を挙げて献血に協力していきます。

(済生記者 田島利恵子)

福岡総合病院

オンラインで
地域医療支援委員会

今年度2回目の地域医療支援委員会を10月14日に開催し、9人が参加しました。地域医療支



援病院の当院は、医師会などと話し合う年4回の実施が義務づけられています。コロナ禍のため、松浦弘院長と院内委員は会議室に参集し、外部委員はオンラインで参加してもらいました。当院の地域医療連携室室長・関口直孝副院長から、当院の地域医療の取り組み、生活困窮者支援事業を報告。その後、感染症内科の岩崎教子医師が新型コロナウイルスに関して、第1〜2波の福岡での発生状況と当院の対応について、さらに対策として気をつけるポイントなどを報告しました。今後も、医師会などと連携し、

地域医療に貢献します。
(済生記者 小田温子)

〔神奈川〕わかさ保育園
保護者参加の
ミニマムうどん会

秋晴れの下、全園児61人が参加する「わくわくミニマムうどん会」を10月3日に開催しました。

コロナ禍で行事が中止・縮小される中、密にならないクラス単位の入替制での実施を決断。各クラス10人前後のミニマムムムからできることを、家族みんなで楽しめるように考えました。間近で応援可能だと保護者に伝えると大変喜ばれ、祖父母も



〔福岡〕飯塚嘉穂病院
意思決定支援の研修を
9割超の職員が受講

荒木貢士緩和ケア主任部長が「アドバンス・ケア・プランニングとは」の職員向け研修会を7月31日に行ない、職員の約92%が受講しました。

当院では、人生会議推進チームを中心にACP（アドバンス・ケア・プランニング）を進めており、その知見を深める研修です。

ACPとは、将来の医療・ケアについて、患者さんを主体にご家族や近親者、医療・ケア



チームが繰り返し話し合っており、患者さんの意思決定を支援するプロセスのことです。

人生会議推進チームは、広島県地域保健対策協議会が制作したポスターや手引書、意思決定の内容を記す「私の心づもり」などを引用し、患者さんへの啓発活動を展開。ポスターなどには「自分のことは自分で決めるべし」と、地元の方言を使ったり親しみやすいキャッチフレーズを採用しています。

当院の「私の心づもり」が地元根付き、地域に広がっていくことを願っています。

(経営企画室 春口勇介)



熊本、松山から「愛」をお届けします!

熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」 熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428
松山ワークステーション「なでしこ」 愛媛県松山市東山町 143 番地 Tel: 089-916-6959

焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。熊本・済生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが店舗し、済生会のホームページ上で営業中です。商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追いつきと、一生懸命つくりました。どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お中元、お歳暮にも最適です。 店主敬白



◆クッキー (左上から時計回りにマープル、ゴマ、プレーン、クルミ) ◆ギフトボックス (クッキーとパウンドケーキの詰め合わせ) ◆くまドレーズ (くまの形で、手軽に食べられる大きさのマドレーズ) ◆元祖クッキー (片栗粉を使ったサクサクとした歯ごたえが人気)

済生会のトップページからアクセス!! <https://www.saiseikai.or.jp>



ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。

topics

〈島根 高砂ケアセンター〉 トウモロコシ、おいしかったよ

コロナ禍で面会が制限され、利用者さんとご家族が接点を持っていない中、それぞれに施設と自宅で同じ種からヒマワリとトウモロコシを育ててもらいました。共通の農作業を通じ、互いを身近に感じてもらうとうと企画したものです(本誌7月号既報)。



来年は一緒に食べたいな!

に食べようとご家族も利用者さんも楽しみにしていました。やがて8月中旬になり収穫時期が来ましたが、面会は一時的に緩和されたものの、すぐにまた制限され、利用者さんご家族の面会は実現できませんでした。そこでトウモロコシを味わう場面を、それぞれが写真に撮って交換することになりました。直接会うことはできませんでしたが、互いの笑顔の写真を見て、ご家族・利用者さんともにうれしそうでした。(リハビリテーション科 新田康雄)

〈千葉 習志野病院 園芸療法士を中学生が取材

園芸療法士有資格PTが8月初旬、地域の中学2年生の書面インタビューを受けました。当院は毎年、近隣の11小中学校から80人ほどの職場体験学習を受け入れていますが、今年はコロナ禍で中止となり、振替授業で実施。インターネットで事前学習した生徒から手紙で送られてきた「リハビリと園芸療法を組み合わせるメリットは？」などの質問に、書面で回答しました。



園芸療法士の活動については、ぜひリハビリテーション室のブログ「庭園だより」をご覧ください。(リハビリテーション室 西本浩子)



載々

済生会の職員が寄稿した記事が、掲載された雑誌等を紹介いたします

最期を迎える患者の家族に寄り添うケアを紹介

〔栃木〕宇都宮病院
看護認定看護師
佐藤脳卒中リハビリテーション

脳神経疾患病棟ナースのための専門誌「BRAIN NURSING」第36巻7月号（メディアカ出版）に、当院の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師・佐藤郁美看護師が寄稿した。



テーマは、「患者の最期を迎える家族の気持ちに寄り添うケア」。突然くも膜下出血を発症した患者の事例を取り上げ、患者が臨終を迎えるまでの家族の葛藤と心情の変化、医療スタッフが家族に行なった支援やケアについて紹介している。

脳卒中は突然発症し、臨終を迎えることもある病気。筆者は「他職種と情報共有しながら、家族の思いに寄り添い、家族が状況を受容できる

ような支援が重要」であると述べており、「家族が患者とどのような最期を過ごすのか、家族の意向を確認することが大切である」と締めくくっている。（済生記者 川原彩花）

障害者が活躍できる職場環境を整備

〔福井〕老健ケアホーム・さいせい
矢尾介護福祉士

「病院羅針盤」（産労総合研究所）2020年10月15日号に、矢尾弘美介護副主任が「介護職員として活躍できる障害者雇用の取り組み」について寄稿した。

被雇用者の能力と施設の職務内容がマッチせず、雇用定着に至らない現状がある中、本人と各関係機関、当施設の関わりを通して、障害者が介護職員としての就労が定着した経緯と取り組みを紹介した。



病院周辺MAP作りました！

9月25日に九州ブロック会議をオンラインで開催しました。詳細は「ニュース済生10月号」に寄稿しているのでご覧ください。

コロナの影響で、熊本に来ていただくことができず残念でした。そこで、少しでもみすみ病院のある、この地域のことを知っていただくこと、「みすみ病院周辺MAP」を作り、会議資料の表紙に載せました。

当院を中心に、近隣の名所や名物を紙に鉛筆で下描きしました。それをスキャナーでパソコンに取り込み、ペイントソフトで地道に色づけしたものです。せつかく作ったので、今後も活用していきたいと考え



当院のある明和町上野でも今年6月から北野遺跡の発掘調査が行なわれ、9月24日に現地が開。明和町斎宮跡文化観光課の担当職員から、発掘調査で新たに明らかになったことが報告されました。

「古墳時代前期（約1700年前）

の16棟分の竪穴建物遺構が発見され、この場所は集落の一部ではないか、また東海系の土器も出土している」ということです。

竪穴建物の跡は長方形や正方形、大きなものから小さなものまで発見されています。土器はお椀やお米を炊くためのS字甕、鏡の石製模造品などが見つかっています。

（三重・明和病院
済生記者 石田真央）



雇用に至るまでの経緯、具体的な取り組みとその成果、コミュニケーションの大切さを挙げています。普段からの小さな声掛け、失敗があっても対応策を考える、お互いのお礼の言葉掛け、各関係機関との情報共有が支えとなっていると述べています。

それらを構築して、当該障害者は5年以上の就労が継続できている。

大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも。ご報告ください。

職員手帳をリニューアル

これまでの医療安全管理マニュアルと職員手帳をコンパクトにまとめた、当院オリジナルのハンドブックを10月に作成しました。済生会の成り立ちや当院の理念・基本方針・フレド（信条や行動指針）のほか、緊急災害時の対応方法なども掲載して



います。

済生会手帳にも収まるサイズで、表紙は今年度入職した事務職員・金丸晃矢さん（写真）が考えました。若者らしい斬新でスタイリッシュなデザインに仕上がりました。

このハンドブックを常に携帯・活用し、福岡総合病院の職員であるという自覚と誇りをもつて行動したいと思っています。

（福岡総合病院
済生記者 小田温子）

日本遺産もある明和町

三重県の多気郡明和町は2015年4月、日本遺産に登録された「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」などの遺跡が多い町です。

広告索引

- キンビバレッジ(株) 表紙見返し [表紙 2]
- アクサ生命保険(株) 裏表紙見返し [表紙 3]
- 富国生命保険(相)
- 日本生命保険(相)
- 第一生命保険(株)
- 大樹生命保険(株)
- 明治安田生命保険(相)
- (株)メディックプランニングオフィス 裏表紙 [表紙 4]

次号予告

済生 No.1098 [令和2年12月号]

- 済生会の不易流行論 (147) 炭谷 茂
- NEWS な済生人 坂本知浩 熊本病院 高橋礼華
- この人
- 済生会交差点
- 口福にっぽん (39) 広島めし三味 (広島県安芸郡海田町)
- てづくりおもちゃ いまいみさ

ています。

コロナが落ち着いたら、ぜひみなさんもこのMAPを参考に熊本へ遊びに来てください！

（熊本・みすみ病院
済生記者 船橋麻紀）

MAPを片手に遊びに行ける日が早く来ますように。（鈴木厚子）

ついに献血50回達成!!

10月13日に、献血回数50回を達成できました。

19歳のとき、学校に献血バスが来



濟生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、
個人保険に比べて
割安な保険料で
大きな死亡保障を!!

グループ保険

〔災害割増特約・こども特約・
こども災害割増特約付福祉団体定期保険〕

(本人・配偶者・こども対象)

診査がなく(告知のみ)
手続きが簡単なおうえ、
剰余金があれば
契約者配当金が戻ります。



① 終身医療保障プラン

〔手術給付特約・手術補完給付特約・
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担
保特約(入院保障保険(終身型 09)付
入院保障保険(終身型 09)(60日型)〕

② 医療保障プラン

〔高度先進医療給付特約・特定疾患給付
特約付医療給付金付個人定期保険〕

③ 総合医療あんしんプラン

〔総合医療保険(団体型)〕

(本人・配偶者・こども対象)

3つの保険より、
選択できます。



第二の人生を
充実させるために
今からご準備を!!

ゆうゆうライフプラン

〔抛成型企業年金保険、
医療給付金付個人定期保険〕

(本人のみ対象)



**令和3年度 濟生会グループ保険は、
令和3年1月1日保障開始となります。
(保険料は令和2年12月の給与からの控除開始です。)**



※このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社 [事務幹事会社]
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン・医療保障プランお問合せ先〕

アクサ生命保険株式会社 制度推進部

【照会先】法人ビジネス業務部

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
お問合せダイヤル 0120-200-971(無料)(受付時間 平日9:00~17:00)

〔医療保険引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社 (終身医療保障プラン・医療保障プラン)
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社(総合医療あんしんプラン)
法人サービスセンター
電話 0120-563-925
【受付時間 月曜日~金曜日9:00~17:00(祝日・12/31~1/3はお取扱いしていません)】

〔総合医療あんしんプラン担当営業部〕

日本生命保険相互会社 公務第一部

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5086

て、何となく始めた献血。それから30年、職場に春と秋の年2回やってくる献血バスで回数を重ねて、ついに節目の記録を達成!!

50回も献血できるんだから注射好きかと思われられるかもしれませんが、実はそうじゃないんです。注射の痛みもそうですが、あの針の穴の大きさがとても……怖いんです。

しかし、病院を挙げて全職員で献血しようという雰囲気と、献血に行くために業務を調整してくれる職場のみんなに背中を押されて、めでたくこの日を迎えることができました。

定年退職まで数年となり、あと何回献血できるかわかりませんが、O型の血液を必要としている人のために、これからも続けて行きたいと思っています。

職場のみんな、迷惑をかけるけどごめんね。

(北海道・小樽病院
濟生記者 松尾覚志)

と直径50センチを超えることもあるという姿に、ボールと勘違いした職員もいました。

実は、とても大きなキノコにも関わらず一晩で一気に成長することも特徴です。昨日まで何もなかった場所に、突然現れた不思議な物体に遭遇した通りがかりの人たちは写真を撮っていました。

通常は竹林などに発生し街中で見かけることは珍しいそうです。遠くから風に乗ってほたるはるやってきた胞子がこの地で実を結んだのではないかと想像し、改めて生命のたくましさを感じました。

皆さんの施設でも、ふと目をやると珍しい植物に出合えるかもしれませんよ!!

(新潟・三条病院
濟生記者 治田貴大)



濟生会

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施療救療による濟生の道を広めるように」との濟生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日濟生会を創立した。

以来今日まで109年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施療救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人 濟生会となっている。

濟生

[令和2年11月号]
THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和2年11月10日発行

通巻第1097号(第96巻第11号)

編集兼
発行人 炭谷 茂

発行所 社会福祉法人 濟生会

〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

三田国際ビルディング21階

TEL: 03-3454-3311(代)

FAX: 03-3454-5576

印刷所 株式会社白橋

東京都中央区八丁堀4-4-1

©社会福祉法人 濟生会

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
会長 有馬朗人
理事長 炭谷 茂
本部 〓 東京 支部 〓 40都道府県
病院 82
診療所 18
介護医療院 1
介護老人保健施設 29
救護施設 1
児童福祉施設 25
老人福祉施設 121
障害者福祉施設 8
看護師養成施設 7
訪問看護ステーション 60
地域包括支援センター 29
地域生活定着支援センター 5
その他 9
合計 395 (数字は令和元年度)
さらに巡回診療船「濟生丸」が瀬戸内海の62島の診療活動に携わっている。
職員数は全国で約6万3000人。

済生会グループにお勤めの看護職の皆さまへ

感染症罹患に備えませんか？

Willnext 看護職向け賠償責任保険

勤務中もプライベートも
24時間補償

新型コロナウイルスから
インフルエンザ・ノロウイルス等
幅広い感染症に対応

入院だけでなく
通院・自宅待機の日数に応じて
見舞金を給付



もちろん業務中の対人・対物事故も手厚く補償！

患者さんにケガをさせた



事故が起こった際のお詫び品購入費用も補償！

患者さんの物を壊した



病院の機材等を破損させてしまった場合も補償！

患者さんとのトラブルを
弁護士に相談したい



業務中のお悩みを
弁護士に無料相談！

年間掛金
Aプラン
2,980円
(一ヶ月あたり
約249円)

保険期間

2020年3月31日午後4時
2021年3月31日午後4時
(毎月中途加入を受け付けております)

看護業務をサポートする補助者の方には！

看護補助者を支える補償 Willnext-Assistant

引受保険会社：メディカル少額短期保険株式会社 TEL:03-5244-9681

業務中の賠償事故や新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症罹患に対する補償がセットになった看護職をサポートする業務補助者のための補償制度ができました！

年間掛金(個人加入の場合)
1,790円 (一ヶ月あたり
約149円)

補償内容についてのお問い合わせや資料請求は下記フリーダイヤルまでご連絡ください。
※Willnext Assistantにご加入いただくには、一般社団法人日本看護学校協議会共済会への入会が必要です。詳しくは下記取扱代理店にお問い合わせください。

このご案内は看護職賠償責任保険、受託者賠償責任保険についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ずパンフレットをよくお読みください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がある場合には取扱代理店までお問い合わせください。

共済制度運営 一般社団法人日本看護学校協議会共済会
引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社(担当課)医療・福祉法人部 法人第一課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4 ラ・メール三番町9階 TEL:03-3515-4143

資料請求・お問合せ先 取扱代理店
(株)メディックプランニングオフィス
〒104-0033 東京都中央区新川2-22-6 5Jビル2F

資料請求

☎ 0120-847861
9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)



20-T02993(2020年10月作成)